

屋外ハウジング一体型カメラ

取扱説明書

工事説明付き

品番 WV-CW860

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



もくじ

商品概要	3
付属品をご確認ください	3
安全上のご注意	4
使用上のお願い	7
各部のなまえ	9

設定メニューと基本操作	10
セットアップメニューについて	12
プリセット設定	15
プリセットポジションの設定	15
ホームポジションの設定	29
オートモードの設定	30
AUTO PAN KEY機能の設定	32
デジタルフリップ機能の設定	33
コントローラー電源OFF時の動作設定	34
特別メニューの設定	35
カメラ交換時のカメラ位置調整	50
カメラ設定	51
RS485設定	57

設置上のお願い	59
DIPスイッチの設定	61
設置のしかた	66
接続のしかた	67

メニュー画面構成	69
ショートカット操作について	70
仕様	74
保証とアフターサービス	76

はじめに

設定のしかた

工事説明

付録

本商品を商行為や防犯面に使用され、本商品の故障または不具合により生じた付随的損害の責任については、ご容赦下さいますようお願い申し上げます。

このたびは、屋外ハウジング一体型カメラをお買いあげいただきまことにありがとうございます。

商品概要

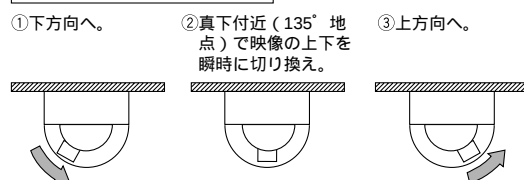
本機は、1/4型CCDを搭載したカラーテレビカメラと22倍ズームレンズ、およびプリセット水平・垂直回転台を一体化した屋外用のドーム型監視カメラです。主な特長は次のとおりです。

- 高感度CCD（charge coupled device）やDSP（digital signal processor）により高感度を実現
カラーモード 0.5 lx、白黒モード 0.03 lxを実現しています（電子感度アップ2倍でAGCがHIGHのとき）。
- 夜間白黒切り換え機能を搭載
低照度時、自動的に白黒モードへ切り換えることができ、夜間でも鮮明に撮影できます。

- デジタルフリップ機能搭載

通常の垂直回転動作ではカメラが真下を向いたところで停止しますが、デジタルフリップ機能を使用すると垂直方向 0° ~ 180° をワンモーションで回転することができます。この機能により、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。

デジタルフリップ機能の動作



・・・操作は、コントローラーのジョイスティックを下方向に倒しておくだけ。

- プライバシーゾーン機能搭載

撮影する場所（画面）の中に映したくない部分がある場合、その部分だけを映さないようにすることができます。

- パトロール機能搭載

手動で操作した内容を記憶し、再現する機能です。例えば、監視したい人の流れをあらかじめ記憶しておき、その内容を再現することにより、より複雑な動きが自動で行えます。

- カメラポジションを記憶可能

最大64ヶ所までカメラポジションを設定することができます。設定したカメラポジションは、コントローラーからポジション番号をテンキー入力するだけで、その映像をモニターに表示できます。

- モーションディテクター機能

監視中、モニター画面内に動きが生じた場合、アラーム信号を送出することができます。この機能により、夜間の侵入に反応してVTR録画するといったシステムを構築することができます。

- ファン・ヒーター内蔵で、ドームカバーに雪や霜が付着するのを防止

- JIS防水保護等級 防噴流形（JIS C 0920）適合の防水仕様

：周囲温度が-30 以下の環境では使用できません。また、-30 以上の環境であっても風雪が強い場所でご使用になると解凍できない場合があります。常時通電し、カメラの内部温度が-10 以上になる環境でご使用ください。

付属品をご確認ください

8Pアラームケーブル.....	1	取扱説明書（本書）	1
4Pアラームケーブル	1	保証書	1

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必設置、移設、電源工事は必ず販売店に依頼してください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

工事は説明書をよく読んで行う



不適切な工事はけがの原因になります。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがあるなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

可燃性雰囲気中使用しない



爆発し、けがの原因となります。

禁止

警告

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない



禁止

取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。

振動のないところに設置する



取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがの原因となります。

落下防止対策を施す



落下によるけがの原因となります。

- 専用の取付金具に、安全ワイヤーを必ず取り付けて使用してください。

落とさない、強い衝撃を与えない



禁止

けがや火災の原因となります。

高所に設置しない



16m以上の高所では思わぬ風速の影響などを受け、落下などの事故の原因となります。

防雪対策を施す



積雪の多い地域では、雪の重みで落下してけがの原因となります。

- ひさしなどで防雪してください。

専用の取付金具を使用する



落下によるけがの原因となります。

- 設置の際は、必ず専用の取付金具を使用してください。

重量に耐える場所に取り付ける



取付場所の強度が不十分だと落下や転倒などでけがの原因となります。

- 総重量に耐える材質・構造の所に、水平に取り付ける。

ねじや固定機構はしっかりと締め付ける



締め付けが緩むと落下などでけがの原因となります。

定期的に点検する



金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。

- 点検は販売店に依頼してください。

ぶら下がらない、足場代わりにしない



落下などの事故の原因となります。

人や物がぶつからない高さに取り付ける



落下などの事故の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告

電源コードを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードの修理は販売店にご相談ください。

配線器具の定格を超える使用いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

禁止

配線は、電源を切ってから行う



感電の原因となります。
また、ショートや誤配線により火災の原因となります。

⚠ 注意

お手入れのときは電源を切る



感電の原因となります。

取付部分の強度を確認する



天井、床、壁など取付部の強度が不十分なとき、落下などでけがの原因となります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

使用上のお願い

⚠ 警告 **⚠ 注意** に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

・カメラのクリーニングについて

長期間使用しているとモニターにノイズが入ったり、プリセットポジションがずれてくることがあります。

カメラのクリーニング機能（ 48ページ）を使用してもこのような状態になるときは、カメラ特別メニューの“ REFRESH ”（ 51～56ページ）を実行してください。

また、カメラクリーニング機能をもったマトリックススイッチャー（WJ-SX550B、WJ-SX777B）をお使いの場合は、マトリックススイッチャー側で“ オートクリーニング ”の設定を行い、1日1回のクリーニングを実行するようにしてください。

・プリセットデータのダウンロード、アップロードについて

コントローラーにカメラのプリセットデータをダウンロードするとき、およびダウンロードしたデータをカメラにアップロードするときは、次の機能を“ OFF ”にしてください。“ ON ”の状態ではダウンロード、アップロードを実行すると、正常に動作完了しないことがあります。

- ・アラーム機能（ 44、45ページ）
- ・プリセットアラーム機能（ 49ページ）
- ・クリーニング機能（ 48ページ）
- ・モーションディテクター機能（ 24ページ）
- ・オートモード（ 30ページ）
- ・ホームポジションのSELF RETURN（ 29ページ）
- ・その他、できるだけ画面の動きの少ない方向（壁など）を撮影してください。

・長時間安定した性能でお使いいただくために

高温・多湿で長時間連続使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。

（推奨温度40℃以下）

設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

- ・周囲温度-30 ～+50、湿度は90%以下の場所でお使いください。（常時通電状態でお使いになる場合）
- カメラの内部温度は、-10 ～+50、湿

度は90%以下の場所でお使いいただけます。カメラの内部温度が-10 以下になると、映像が映らない、カメラを操作できないなどの現象が発生します。このときは、通電状態のまましばらくお待ちください。カメラの内部の温度が-10 以上になると初期化動作後、通常操作が可能となります。

- ・ドームカバーに直接触れないでください
カバーが汚れると画質劣化の原因となります。

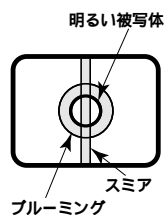
- ・ドームカバーに強い衝撃を与えないでください。
破損、浸水の原因となります。

・CCD色フィルターの焼き付きについて

画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

・強い光にカメラを向けないでください

画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング（強い光の周りがにじむ現象）、スミア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。



・取り扱いにはていねいに

落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。
故障の原因になります。

・本機に電源スイッチはありません

電源を切るときは、電源ブレーカーを切ってください。

使用上のお願い

- **使用中、画面に「OVER HEAT」と表示されたときは**

冷却ファンの故障などにより、カメラ内部が異常に高温になっています。ただちに電源ブレーカーを切り、販売店へご連絡ください。

- **消耗品について**

次の部品は、寿命時間を目安に交換してください。なお、寿命時間は、使用環境、使用条件により変わります。また、消耗品の交換は、保証期間内であっても有料となります。

部品名	寿命時間
レンズ部	:約370万動作 (約20,000時間)
スリップリング	:約240万動作 (約20,000時間)
冷却ファン、FANモーター	:約50,000時間

- **お手入れは**

お手入れは、安全のためブレーカーを切ってください。けがの原因になります。

ペンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

- **汚れがひどいときは**

うすめた台所用洗剤をやわらかい布にしみこませ、よくしぼり、軽く拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。

- **きれいな画面を得るためには**

1か月に一度、ドームカバーを清掃すると、きれいな画面を得られます。

- **機器の組み合わせについて**

機器の組み合わせは制限があります。定格、外観寸法をよく確認してから接続してください。詳しくは、「Panasonic CCTVシステム 総合カタログ」を参照するか、販売店にご相談ください。

各部のなまえ

電源ケーブル

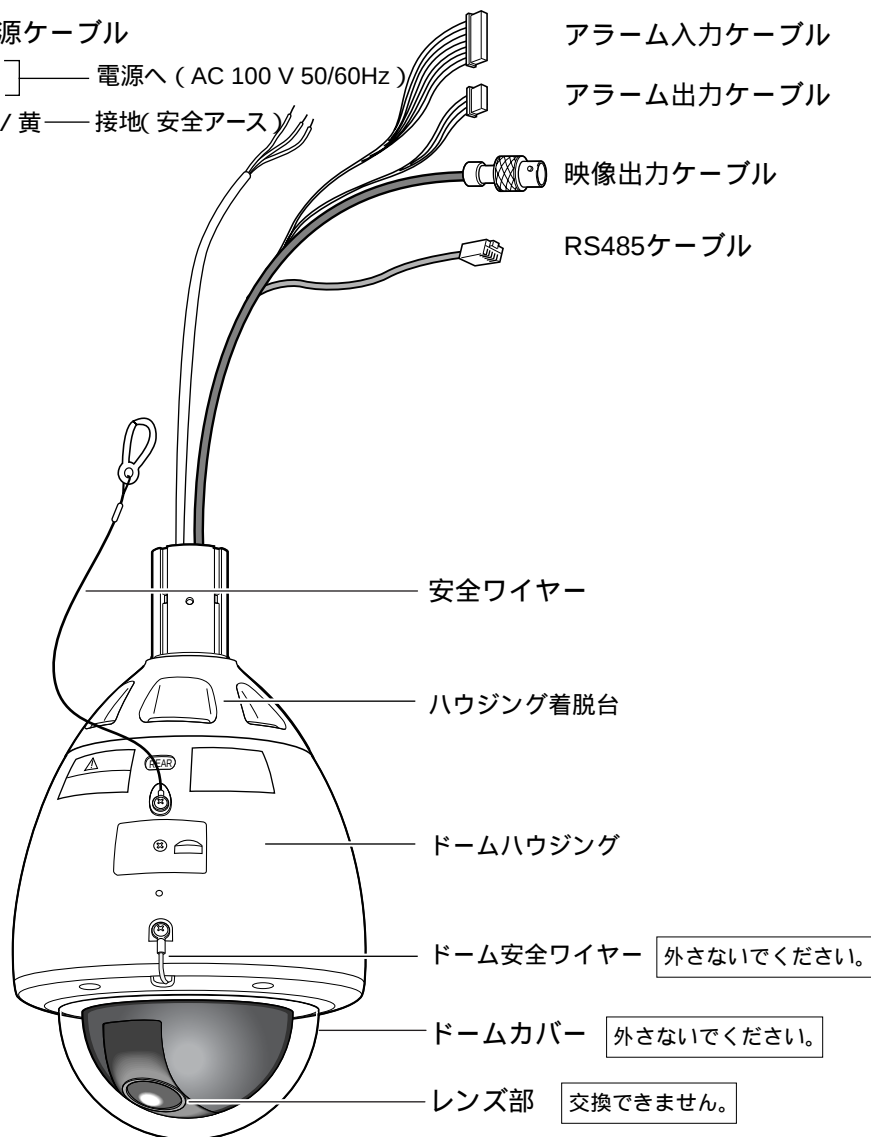
黒 〓 電源へ (AC 100 V 50/60Hz)
白 〓
緑 / 黄 〓 接地 (安全アース)

アラーム入力ケーブル

アラーム出力ケーブル

映像出力ケーブル

RS485ケーブル



はじめに

常に最良の状態でお使いいただくために

- 本機は「スリッピング」と呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。このスリッピングが汚れると、パン（水平回転）操作時に画質の劣化やノイズが発生することがあります。

常に最良の状態を保つために、クリーニング機能（ 48ページ ）を「ON」にしてお使いください。

- スリッピングのクリーニングを行っても画質の劣化やノイズを解消できないときは、スリッピングの寿命が考えられますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

設定メニューと基本操作

はじめに

- ・設定操作は、本機に接続されたシステムコントローラーやパーソナルコンピュータで行います。本機のみで設定することはできません。
- ・各種機能の設定は、モニター画面上に「設定メニュー」を表示して行います。設定メニューは設定項目ごとに分かれています。(メニュー画面構成、69ページ)
- ・設定メニューの中で最初に表示されるメニューを「セットアップメニュー」と呼びます。すべての設定操作は、セットアップメニューを表示したところから始まります。セットアップメニューの表示方法やメニューの内容については12,13ページをご覧ください。
- ・電源投入直後は約30秒間初期化動作を行います。この初期化動作中は、設定メニュー操作ができません。

設定項目について

本機の設定項目には、「プリセット設定」「カメラ設定」「RS485設定」があります。各設定項目の概要は次のとおりです。

(1) プリセット設定 (15～50ページ)

撮影場所を最大64ヶ所まで記憶することができます。

記憶する撮影場所をプリセットポジションといい、1～64の番号(プリセット番号)で管理されます。このプリセット番号ごとに、撮影場所(プリセットポジション)と撮影条件を設定することとをプリセット設定といいます。

(2) カメラ設定 (51～56ページ)

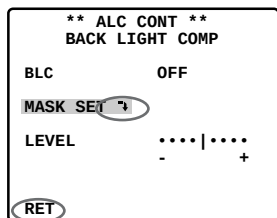
カメラの動作に関する設定です。セットアップメニューから「カメラ設定メニュー」を表示して設定を行います。

(3) RS485設定 (57～58ページ)

本機のRS485ケーブルを使用して、コントローラーで本機を制御する場合に設定します。セットアップメニューから「RS485設定メニュー」を表示して設定を行います。

設定メニュー上の表示について

各設定メニュー共通の表示について説明します。



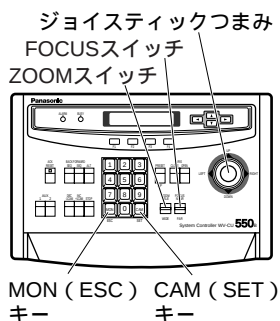
↗ : 設定項目の右側に表示され、その設定項目には詳細項目を設定するサブメニューがあることを示しています。

RET : メニューの左下に表示され、ひとつ前のメニューに戻るときに選択します。

設定時の操作方法（基本操作）

設定時の操作内容と使用するキー（スイッチ）は次のとおりです。コントローラーにより異なりますのでご注意ください。詳細はコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

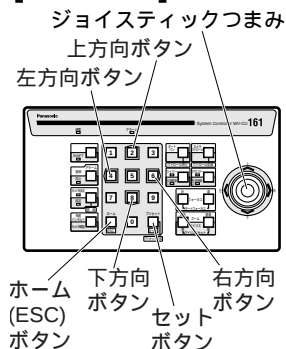
【WV-CU550B】



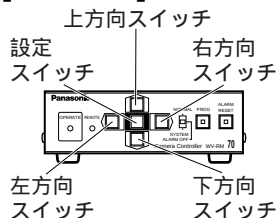
【WV-CU360】



【WV-CU161】



【WV-RM70】



	WV-CU550B	WV-CU360	WV-CU161	WV-RM70
カーソル移動	ジョイスティックつまみ (上下左右)	ジョイスティックつまみ (上下左右)	テンキーの 上下左右方向 スイッチ	上下左右方向 スイッチ
設定内容の切換	ジョイスティックつまみ (左右)	ジョイスティックつまみ (左右)	テンキーの 左右方向ス イッチ	左右方向ス イッチ
レベルの調整	ジョイスティックつまみ (左右)	ジョイスティックつまみ (左右)	テンキーの 左右方向ス イッチ	左右方向ス イッチ
カメラの向き (水平垂直位置)	ジョイスティックつまみ (上下左右)	ジョイスティックつまみ (上下左右)	ジョイスティックつまみ (上下左右)	上下左右方向 スイッチ
レンズのズーム フォーカス調整	ZOOM、 FOCUS スイッチ	ズーム、 フォーカス スイッチ	ZOOM、 FOCUS スイッチ	上下左右方向 スイッチ
設定内容の確定	CAM (SET) キー	カメラ (セット)キー	セット ボタン	設定ス イッチ
サブメニュー 表示	CAM (SET) キー	カメラ (セット)キー	セット ボタン	設定ス イッチ
プリセットID、 カメラID 表示位置決定	MON (ESC) キー	モニター (ESC)キー	ホーム (ESC) ボタン	設定ス イッチ(長押し)
マスク設定の 確定	MON (ESC) キー	モニター (ESC)キー	ホーム (ESC) ボタン	設定ス イッチ(長押し)

重要!!

- ・変更した設定内容は、他の項目にカーソルを移動するか、別の設定メニューに切り換わったときに確定されます。設定内容を変更した状態で設定メニューを消すと、その操作は無効となります。
- ・各種機能の設定操作（15ページ以降）は、システムコントローラー WV-CU550Bを例に説明しています。

セットアップメニューについて

すべての設定操作は「セットアップメニュー」を表示したところから始まります。
ここではセットアップメニューの表示方法と設定項目について説明します。

セットアップメニューの表示方法

操作の詳細説明は、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

** SET UP MENU **		
PRESET 1 ↵		
MAP ↵		
HOME POSITION	OFF	
SELF RETURN	OFF	
AUTO MODE	OFF	
AUTO PAN KEY	AUTO PAN	
DIGITAL FLIP	ON	
LOCAL/REMOTE	LOCAL	
SPECIAL1 ↵		
CAMERA ↵		
RS485 SET UP ↵		

セットアップメニュー

● WV-CU550Bを使用する場合

- ① 設定するカメラ（本機）とセットアップメニューを表示する
モニター番号を選択する
- ② カーソルキーを使い、「D4」メニューを表示する
- ③ F1キーを押す

● WV-CU360を使用する場合

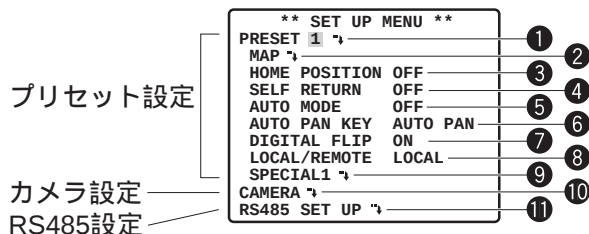
- ① カメラ設定キーを2秒以上押し続ける。

● WV-CU161を使用する場合

- ① カメラ設定ボタンを2秒以上押し続ける

● WV-RM70を使用する場合

- ① 機能切換スイッチを「NORMAL」または「ALARM OFF」にする
- ② プログラムスイッチを2秒以上押し続ける
- ③ カーソルを「Camera Set Up」に合わせ、設定スイッチを押す



① PRESET (プリセット)

プリセット番号を直接指定して、撮影場所やレンズのズーム・フォーカス位置などをプリセット設定メニューで設定します。(15ページ)

プリセット番号を指定すると、プリセット設定メニューが表示されます。

② MAP (マップ)

プリセット番号を選択するポジション選択メニューを表示します。ポジション選択メニューでプリセット番号を選択してから、撮影場所やレンズのズーム・フォーカス位置などをプリセット設定メニューで設定します。(15ページ)

③ HOME POSITION (ホームポジション)

手動での操作終了後、一定時間を経過したときに自動的に戻る撮影場所 (ホームポジション) を設定します (29ページ)。AUTO MODE ⑤が「OFF」のときのみ機能します。

④ SELF RETURN (セルフリターン)

手動操作終了後、ホームポジションに戻るまでの時間を設定します。(29ページ)

AUTO MODE ⑤が設定されている場合は、手動操作終了後にオートモードへ自動復帰するまでの時間設定となります。

⑤ AUTO MODE (オートモード)

カメラの動作モードを設定します。(30ページ)

⑥ AUTO PAN KEY (オートパンキー)

コントローラーのAUTO PANキーを押したときの動作を設定します。(31ページ)

⑦ DIGITAL FLIP (デジタルフリップ)

デジタルフリップ機能のON/OFFを設定します。(33ページ)

デジタルフリップ機能を使用すると、垂直方向0° ~ 180° をワンモーションで回転させることができ、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。

⑧ LOCAL/REMOTE (ローカル/リモート)

コントローラーの電源を切ったときの本機動作を設定します。(34ページ)

セッアップメニューについて

⑨ SPECIAL1 (スペシャル1)

プライバシーゾーンやパトロール機能など、特別な機能を設定する特別メニューを表示します。(35ページ)

⑩ CAMERA

カメラ映像系の動作設定を行うカメラ設定メニューを表示します。(51ページ)

⑪ RS485 SET UP

本機のRS485ケーブルを使用して、コントローラーから本機を制御する場合の環境設定を行うRS485設定メニューを表示します。(57ページ)

DIPスイッチ1 (63ページ)を設定したときのみ、このメニューが表示されます。

⑫ PATROL (パトロール)

パトロール機能を設定します。(41～43ページ)

⑬ CLEANING (クリーニング)

クリーニング機能のON/OFFを設定します。(48ページ)

プリセット設定

プリセットポジションの設定 [PRESET]

プリセット番号を設定し、プリセット番号ごとに撮影場所・撮影条件を設定します。
プリセット番号1~4は、アラーム入力（ 44ページ）と連動します。

●プリセット番号を設定し、プリセット設定メニューを表示する

設定には、次の2種類の操作方法があります。

(1) プリセット番号を直接指定する場合 [PRESET]

** SET UP MENU **	
PRESET 1 ↵	
MAP ↵	
HOME POSITION	OFF
SELF RETURN	OFF
AUTO MODE	OFF
AUTO PAN KEY	AUTO PAN
DIGITAL FLIP	ON
LOCAL/REMOTE	LOCAL
SPECIAL1 ↵	
CAMERA ↵	
RS485 SET UP ↵	

セットアップメニュー

1 カーソルをPRESETの設定項目「1 ↵」に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、設定したいプリセット番号（1~64）に切り換えます

2 CAM (SET) キーを押します
プリセット番号が設定され、プリセット設定メニューが表示されます。

(2) ポジション選択メニューからプリセット番号を選択する場合 [MAP]

** SET UP MENU **	
PRESET 1 ↵	
MAP ↵	
HOME POSITION	OFF
SELF RETURN	OFF
AUTO MODE	OFF
AUTO PAN KEY	AUTO PAN
DIGITAL FLIP	ON
LOCAL/REMOTE	LOCAL
SPECIAL1 ↵	
CAMERA ↵	
RS485 SET UP ↵	

セットアップメニュー

1 カーソルを「MAP ↵」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
ポジション選択メニューが表示されます。

2 設定したいプリセット番号にカーソルを合わせ、CAM (SET) キーを押します
プリセット番号が設定され、プリセット設定メニューが表示されます。

プリセット番号33~64を設定するときは、メニュー左下の「33 - 64」にカーソルを合わせ、CAM (SET) キーを押してください。プリセット番号33~64を選択するポジション選択メニューが表示されます。

** PRESET NUMBER SET **			
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32
ID: DOOR			
33-64	RET		

ポジション選択メニュー

** PRESET NUMBER SET **			
33	34	35	36
37	38	39	40
41	42	43	44
45	46	47	48
49	50	51	52
53	54	55	56
57	58	59	60
61	62	63	64
ID:			
1-32	RET		

ポジション選択メニュー

メモ

- ・プリセット設定をするとプリセット番号右側に「*」印が表示されます。
ホームポジションに設定されている場合は、「*」印の横に「H」印が表示されます。
- ・プリセットIDが登録されているプリセット番号にカーソルを合わせると、「ID:」欄にプリセットIDが表示されます。

プリセット設定

● 撮影場所を設定する [POSITION SET]

カメラの向き（水平・垂直位置）、レンズのズーム・フォーカスを設定します。

```
PRESET NO. 1*
POSITION SET  [ ]
PRESET ID     ON  [ ]
ALC/MANUAL    ALC [ ]
STOP TIME     10S
SCENE FILE    OFF [ ]
PRESET SPEED   .....|
                L    H
RET   DEL
```

プリセット設定メニュー

```
** POSITION 1 **
PAN/TILT      -PUSH SET
ZOOM/FOCUS    -PUSH SET

PAN OFFSET SET - 0.0 -

RET
FLOOR1
DOOR
```

ポジション設定メニュー

```
** POSITION 1 **
PAN/TILT      -PUSH SET
ZOOM/FOCUS    -PUSH SET

U TILT D/L PAN R
PAN OFFSET SET - 0.0 -

RET
FLOOR1
DOOR
```

PAN/TILT設定メニュー

```
** POSITION 1 **
PAN/TILT      -PUSH SET
ZOOM/FOCUS    -PUSH SET

U TILT D/L FOCUS R
PAN OFFSET SET - 0.0 -

RET
FLOOR1
DOOR
```

ZOOM/FOCUS設定メニュー

- 1 カースルを「POSITION SET」に合わせてCAM (SET) キーを押し、ポジション設定メニューを表示します
- 2 PAN/TILT右側の「→ PUSH SET」にカースルを合わせてCAM (SET) キーを押し、PAN/TILT設定メニューを表示します
- 3 ジョイスティックつまみを上下左右に動かしてカメラの向き（水平・垂直位置）を設定し、CAM (SET) キーを押します。カメラの向きが決定し、ポジション設定メニューに戻ります。
- 4 ZOOM/FOCUS右側の「→ PUSH SET」にカースルを合わせてCAM (SET) キーを押し、ZOOM/FOCUS設定メニューを表示します
- 5 ZOOMスイッチでズームを、FOCUSスイッチでフォーカスを調整し、CAM (SET) キーを押します。レンズのズーム・フォーカス調整が完了し、ポジション設定メニューに戻ります。

メモ

- ・水平に近い角度で使用する場合、フォーカス調整があまくなることがありますのでご注意ください。
- ・ポジション設定メニュー上部のプリセット番号にカースルを合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かすとプリセット番号を選択できます。ここでCAM (SET) キーを押すと、選択したプリセット番号の撮影場所を設定することができます。
- ・カメラ交換によるプリセットデータアップロード時のカメラ位置調整（PAN OFFSET SET）については、50ページをご覧ください。
- ・カメラID、プリセットIDが登録されているとポジション設定メニュー下部にカメラID、プリセットIDが表示されます。

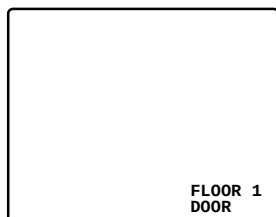
ここに合わせる

```
** POSITION 1 **
PAN/TILT      -PUSH SET
ZOOM/FOCUS    -PUSH SET

PAN OFFSET SET - 0.0 -

RET
FLOOR1
DOOR
```


プリセット設定



表示位置設定メニュー

4 カーソルを「POSI」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
表示位置設定メニューが表示されます。

5 ジョイスティックつまみを動かしてプリセットIDの表示位置
を設定し、MON (ESC) キーを押します
プリセットIDの表示位置が決定し、プリセットID設定メニュー
に戻ります。

メモ

プリセットID設定メニュー上のプリ
セット番号にカーソルを合わせ、ジ
ョイスティックつまみを左または右
に動かしてプリセット番号を変更す
ると、続けて別のプリセットID設定
が行えます。

ここに合わせる

PRESET NO. 1*
0123456789
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
(), ' " : ; & # ! ? =
+ - * / % \$

SPACE KANA
COPY POSI RET RESET

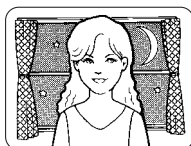
DOOR.....
↑

● 逆光補正について

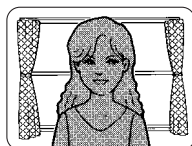
被写体の背景にスポットライトのような明るい照明があると、カメラは明るい部分に合わせて絞りを設定してしまうため、被写体が暗くなります。この現象を解消するために、背景の明るい部分にマスクをかけ、明るい部分を検出しないように設定します。逆光補正には、カメラ側で光の状態を検出して自動的に補正を行うBLC ON モードと検出範囲を自分で設定する BLC OFFモードがあります。

[逆光補正を行わない場合]

夜間

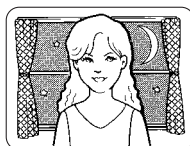


日中

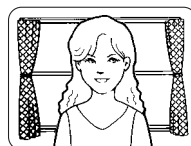


[逆光補正を行った場合]

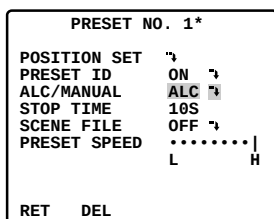
夜間



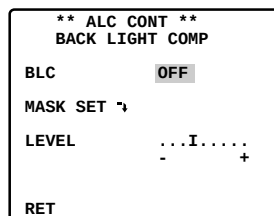
日中



● IRIS制御の設定



プリセット設定メニュー



[ALC設定画面]

- 1 カーソルを「ALC/MANUAL」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ALC/MANUALを切り換えます（工場出荷時の設定は、ALCです）。

ALC : 被写体の明るさに応じて、自動でレンズの絞りを調整します。

MANUAL : ジョイスティックつまみを左または右に動かし、レンズの絞りを調整します。

- 2 カーソルを「ALC」の項目に合わせてCAM(SET)キーを押します。ALC設定画面が表示されます。

- 3 カーソルを「PRESET」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます（工場出荷時の設定は、OFFです）

ON : 自動で逆光補正を行います（BLC ONモード）。

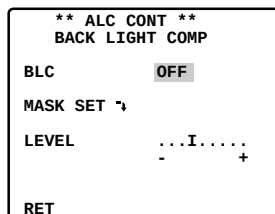
OFF : 補正箇所を設定して、逆光補正を行います（BLC OFFモード）。

OFFに設定すると、ALC設定画面に「MASK SET」が表示されます（→20ページ参照）。

- 4 映像出力レベル（画像のコントラスト）は、カーソルを「LEVEL」の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かして調整します。

プリセット設定

● 逆光補正範囲の設定



[ALC設定画面]

BLC ONモードで希望すると逆光補正効果を得られないときは、BLC OFFモードにします。BLC OFFモードで、明るすぎる光源などに個別にマスクをかけて逆光補正を行ってください。

1 カーソルを「PRESET」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、「OFF」に切り換えますALC設定画面にMASK SETが表示されます。

2 カーソルを「MASK SET」に合わせて、CAM(SET)キーを押します。マスク設定画面が表示されます。マスク設定画面とは、48区画に分割された画面のことです。

3 背景の明るい部分の区画にマスクをかけます。

①ジョイスティックつまみを右または左に動かし、マスクをかけたい区画に画面上の点滅表示を合わせます。マスク設定画面を表示した直後は、画面左上の区画が点滅表示しています。

②CAM(SET)キーを押し、マスクをかけます。

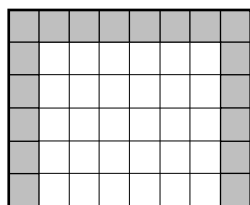
マスクをかけた場所は白くなります（マスクをかけた場所にカーソルがあるときは、横縞と白の交互表示になります）。他の区画に点滅表示があるときは白くなります。

マスクの設定を取り消したいときは、その区画にカーソルを合わせ（横縞と白の交互表示）CAM(SET)キーを押します。

③手順②を繰り返して背景の明るい部分にマスクをかけます。

④マスクの設定が完了したら、CAM(SET)キーをALC設定画面に戻るまで押し続けます。

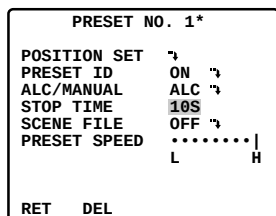
4 映像出力レベル（画像のコントラスト）は、カーソルを「LEVEL」の項目に合わせて、ジョイスティックつまみを左または右に動かして調整します。



[マスク設定画面]

●シーケンス動作時の停止時間を設定する [STOP TIME]

セットアップメニューのオートモード (AUTO MODE) を「SEQ」に設定すると、設定されているプリセットポジションを、小さいプリセット番号から順番に切り換えて映し出します。ここでは、プリセットポジションを映し出す時間 (カメラの回転が停止している時間) を設定します。



プリセット設定メニュー

- 1 カーソルを「STOP TIME」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、停止時間を設定します
時間は次のように切り換わります。(S : 秒、MIN : 分)

2S↔3S↔5S↔10S↔30S↔1MIN↔2MIN↔3MIN↔4MIN

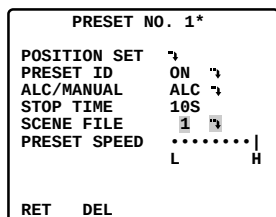
●シーンファイルの選択と設定方法 [SCENE FILE]

撮影場所 (シーン) に合わせたカメラ設定をシーンファイルといい、10種類まで記憶することができます。記憶したシーンファイルは1～10の番号 (シーンファイル番号) で管理され、プリセットポジション設定時に選択することができます。

ここでは、シーンファイルの選択方法と設定方法について説明します。

(1) シーンファイルを選択する

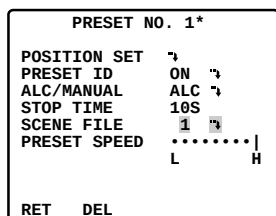
記憶されているシーンファイルを現在設定しているプリセットポジションで使用する場合の設定です。



プリセット設定メニュー

- 1 カーソルを「SCENE FILE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、使用するシーンファイル番号 (1～10) を設定します
シーンファイルを使用しないときは、「OFF」を選択してください。

(2) シーンファイルを設定する



プリセット設定メニュー

- 1 カーソルを「SCENE FILE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、シーンファイル番号 (1～10) を選択します
- 2 CAM (SET) キーを押します
シーンファイル設定メニューが表示されます。

プリセット設定

** SCENE FILE 1 **	
SHUTTER	OFF
AGC	ON (MID)
SENS UP	OFF
WHITE BAL	ATW1→
MOTION DET	OFF ↵
AF MODE	MANUAL S
RET	

シーンファイル設定メニュー

- 3 カーソルを「SHUTTER」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、シャッター速度を設定します
シャッター速度の設定項目は次のように切り換わります。

OFF↔1/100↔1/250↔1/500↔1/1000↔1/2000↔1/4000↔1/10000
↑↑

- 4 カーソルを「AGC」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ゲインの調整方法を設定します

ON (LOW) : ゲイン調整を自動で行い撮影します。

(ゲイン 小)

ON (MID) : ゲイン調整を自動で行い撮影します。

(ゲイン 中)

ON (HIGH) : ゲイン調整を自動で行い撮影します。

(ゲイン 大)

OFF : ゲインを常に固定した状態で撮影します。

OFF↔ON (LOW)↔ON (MID)↔ON (HIGH)
↑↑

メモ

AGCを「ON」にすると、低照度で自動的にノイズリダクション機能が働きノイズが低減されます。ただし、動きのある被写体やPAN/TILT操作によって残像が発生することがあります。詳しくは、DNRの設定 (56ページ) を参照してください。

- 5 カーソルを「SENS UP」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、電子感度アップを設定します
電子感度アップは、シャッター速度が「OFF」または「1/100」のとき設定できます。

・シャッター速度がOFFのとき

OFF↔X2 AUTO↔X4 AUTO↔X6 AUTO↔X10 AUTO↔X16 AUTO↔X32 AUTO
↑↔X32 FIX↔X16 FIX↔X10 FIX↔X6 FIX↔X4 FIX↔X2 FIX↔OFF←↑

・シャッター速度が1/100のとき

OFF↔X2 AUTO↔X4 AUTO↔X6 AUTO↔X10 AUTO↔X16 AUTO↔X32 AUTO
↑↑

メモ

AUTOとFIXには次のような違いがあります。

AUTO : 例えばX32 AUTOであれば、32倍までの間で自動的に感度を上げます。

FIX : 例えばX32 FIXであれば、32倍に感度を上げます。

6 カーソルを「WHITE BAL」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ホワイトバランスの調整方法(ATW1/ATW2/AWC)を設定します各モードで自動調整後、手動でホワイトバランスを微調整することができます(→25ページ)

①ATW1：自動色温度追尾モード

カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調整します。動作範囲は約1 600～6 000Kです。以下の条件に該当する場合、忠実に色を再現できないことがあります。この場合は、「AWC」に変更してください。

- 被写体の大部分が濃い色
- 光源が、抜けるような青空や夕暮れ時の太陽
- 被写体を照らす照度が暗い

②ATW2：ナトリウム灯自動色温度追尾モード

ナトリウム灯下で最適なホワイトバランスに自動調整します。

③AWC：自動ホワイトバランスコントロールモード

動作範囲は約2 300Kから10 000Kです。光源が変化しない場所での撮影に適しています。

- (a)「AWC」を選択した場合は、ジョイスティックつまみを左に動かし、「AWC→PUSH SW」に切り換えます。
- (b)CAM(SET)キーを押し、ホワイトバランスを調整します。ホワイトバランスの調整中は、「PUSH SW」が反転表示になります。
 - 「PUSH SW」の反転表示が元に戻ったらホワイトバランスの調整は終了です。ジョイスティックつまみを右に動かし、表示を「AWC」にします。
 - ホワイトバランスを完全に調整できない場合、「PUSH SW」は反転表示のままとなります。動作範囲外または照度が暗すぎないか確認してください。

プリセット設定

7 カーソルを「MOTION DET」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、モーションディテクター機能を設定します

- ON : モーションディテクター機能を使用します。
「ON」を選択してCAM (SET) キーを押すと、
モーションディテクター設定メニューが表示され、
詳細設定が行えます。(26ページ)
- OFF : モーションディテクター機能を使用しません。

モーションディテクター機能とは

1画面を48ブロックに分割してブロックごとに輝度の変化を認識することで、撮影場所の映像に変化（動き）が生じたときにアラーム信号を送出する機能です。

オートモードで動作しているときに映像の変化（動き）を検出すると、アラーム信号を送出するとともに検出したプリセットポジションに設定した時間カメラを停止させることができます。

8 カーソルを「AF MODE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、オートフォーカスの動作モードを設定します

- NORMAL S,M,L : コントローラーのオートフォーカススイッチを押したときにオートフォーカスが働きます。
- AUTO S,M,L : 手動によるPAN、TILT、ZOOM操作時に自動的にオートフォーカスが働きます。「NORMAL」と同様にコントローラーのオートフォーカススイッチで動作させることもできます。

S,M,Lはオートフォーカスを設定するエリアを表しており、Small（小） Middle（中） Large（大）の略です。
表示は次のように切り換わります。

AUTO S ↔ AUTO M ↔ AUTO L ↔ NORMAL S
↑ ↑
→ NORMAL L ↔ NORMAL M ←

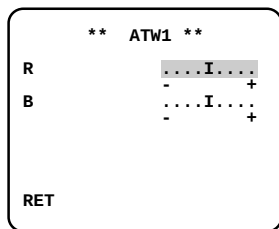
メモ

- ・電子感度アップ (SENS UP) を X2 FIX、X2 AUTO 以外の設定で使用する場合、「AUTO (S,M,L)」は使用できません。自動的に「NORMAL (S,M,L)」に設定されます。
- ・ WIDE (広角) で合わせた後にズームアップするとピントがぼけます。
- ・ 以下のような被写体は、オートフォーカスではピントが合わせられません。手動操作でピントを合わせてください。
(例) ・ 輝いたり、強い光が反射する被写体
 - ・ 水滴や汚れのついたガラス越しにある被写体
 - ・ 遠くの被写体と近くの被写体が混在する場合
 - ・ 白い壁など、明暗差のない被写体
 - ・ ブラインドなど、横じまの被写体
 - ・ 斜めの被写体
 - ・ 暗い被写体

また、オートフォーカスは画面の中央部にある被写体に対してピントを合わせますので、画面の周辺にある被写体にはピントが合いません。

● ホワイトバランスを微調整する

ホワイトバランスを自動調整した後に、手動で微調整する場合は以下の手順で操作します。



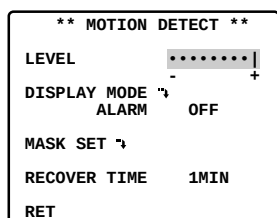
[ATW,AWC微調整画面]

- 1 カーソルを「WHITE BAL」の項目に合わせてCAM(SET)キーを押し、微調整画面を表示します (微調整画面はモードごとにあります)。
- 2 カーソルを「R」または「B」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、レベルを調整します。
「R」は赤色、「B」は青色を表しています。+(プラス)方向に動かすと色が強く、-(マイナス)方向に動かすと色が弱くなります。

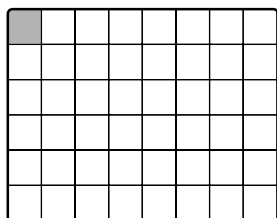
プリセット設定

● モーションディテクター機能の詳細設定を行う

「(2) シーンファイルを設定する」の手順7 (24ページ) で、モーションディテクター設定メニューを表示して、モーションディテクター機能の詳細設定を行う場合の操作です。



モーションディテクター設定メニュー



マスク設定画面

- 1 「MASK SET」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、マスク設定画面を表示します
- 2 映像変化 (動き) を検出しないエリアにマスクを設定します
マスクの設定方法は、20ページの手順3を参照してください。
マスク設定後、MON (ESC) キーを押すとモーションディテクター設定メニューに戻ります。
- 3 カーソルを「ALARM」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、デモモード時 (手順4) のアラーム動作を設定します
ON : デモモード時にアラームを出力します。
OFF : デモモード時にアラームを出力しません。
- 4 「DISPLAY MODE」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、デモモードを実行します

デモモードとは

1画面を48ブロックに分割した状態で輝度変化の検出を行い、設定した検出感度レベルを超える輝度平均の変化が起こった部分をマスク表示します。

デモモードの結果をもとに、検出感度レベルの調整 (手順4) や検出エリアの設定 (手順1) をくり返し、最適の状態にします。

検出条件

被写体の動く速さ：画面の端から端を物体が通過する時間が0.1秒～0.8秒必要。それよりも速く、または遅く動く物体は検出できません。

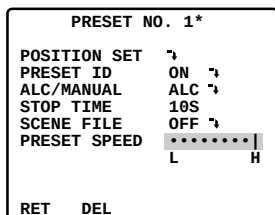
↑ _____ 60MIN ↔ 30MIN _____ 1

27

プリセット設定

●プリセットスピードを設定する [PRESET SPEED]

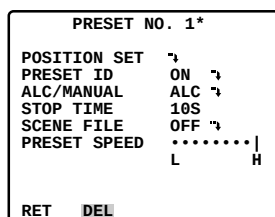
セットアップメニューのオートモード (AUTO MODE) を「SEQ」に設定すると、設定されているプリセットポジションを、小さいプリセット番号から順番に切り換えて映し出します。ここでは、シーケンス動作時のプリセットポジションへの移動速度を設定します。



プリセット設定メニュー

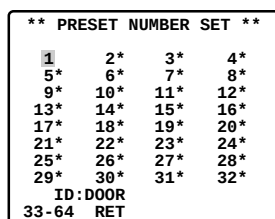
- 1 カーソルを「PRESET SPEED」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、移動速度を設定します
L方向に動かすと速度が遅くなり、H方向に動かすと速度が速くなります。

●設定したプリセットポジションを消去する [DEL]



プリセット設定メニュー

- 1 カーソルを「DEL」の項目に合わせ、CAM (SET) キーを押します
そのプリセット番号の設定内容は消去され、ポジション選択メニューが表示されます。

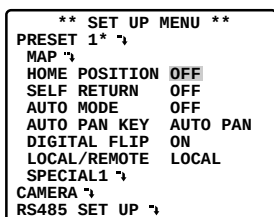


ポジション選択メニュー

ホームポジションの設定 [HOME POSITION][SELF RETURN]

手動での操作終了後に一定時間を経過すると、カメラの位置を指定したプリセットポジションへ自動的に戻すことができます。この自動的に戻るカメラ位置をホームポジション (HOME POSITION) と呼びます。

ここでは、ホームポジションと手動操作終了後にホームポジションへ戻るまでの経過時間 (SELF RETURN) を設定します。



セットアップメニュー

- 1 カーソルを「HOME POSITION」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、設定したいプリセット番号を選択します

選択したプリセット番号がホームポジションとして設定されます。

ホームポジションを使用しないときは、「OFF」を選択してください。

- 2 カーソルを「SELF RETURN」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、手動操作終了後にホームポジションへ戻るまでの経過時間を設定します

時間は次のように切り換わります。(MIN : 分)

1MIN↔2MIN↔3MIN↔5MIN↔10MIN↔20MIN

↑ → OFF ↔ 60MIN ↔ 30MIN ← ↑

メモ

ホームポジション機能を働かせるには、オートモードの設定 (30ページ) を「OFF」にしてください。

オートモードの設定が「SEQ」「SORT」「AUTO PAN」「PATROL」のときはホームポジション機能が働かず、SELF RETURNの設定内容は手動操作後にオートモードへ自動復帰する時間となります。

オートモードの設定 [AUTO MODE]

```

** SET UP MENU **
PRESET 1* ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN OFF
AUTO MODE OFF
AUTO PAN KEY AUTO PAN
DIGITAL FLIP ON
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵

```

1 カースルを「AUTO MODE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、動作モードを設定します

OFF ↔ SEQ ↔ SORT ↔ AUTO PAN ↔ PATROL

- SEQ、SORT、PATROL動作時にPAN/TILTやZOOM/FOCUSを手動操作すると、オートモードは解除されます。ただし、設定メニュー上は変更されませんので、一度セッティングメニューを開いてから閉じるか、SELE RETURNの設定時間（29ページ）を経過するとオートモード機能が働き始めます。
- 動作中にレンズがリフレッシュモードに入ることがあります。

● AUTO PANの詳細内容を設定する

** AUTO PAN **	
POSITION	START
	END
SPEED	
	L H
PAN LIMIT	OFF
ENDLESS	OFF
STOP TIME	1S
RET	

AUTO PAN設定メニュー

1 PANのスタート位置とエンド位置を次の手順で設定します

- ① カーソルを「POSITION SET」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
「START」にカーソルが移動します。
- ② ジョイスティックつまみでカメラを動かしてPANのスタート位置を決め、CAM (SET) キーを押します
スタート位置が決定し、「END」にカーソルが移動します。
- ③ ジョイスティックつまみでカメラを動かしてPANのエンド位置を決め、CAM (SET) キーを押します
エンド位置が決定し、「POSITION」にカーソルが移動します。

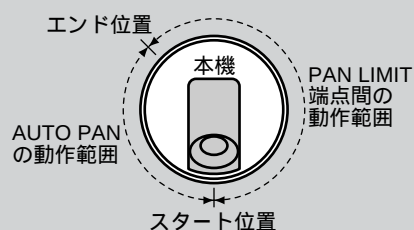
2 カーソルを「SPEED」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、PANの回転速度を設定します + 方向に動かすと回転速度が速くなり、- 方向に動かすと回転速度が遅くなります。

3 カーソルを「PAN LIMIT」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます

- ON : 手動操作時は、PAN LIMIT端点間へカメラを向けることができません。90° までのTILT (垂直) 動作範囲となります。ENDLESS (手順4) は「OFF」に設定してください。
- OFF : 手動操作時でも、PAN LIMIT端点間へカメラを向けられます。

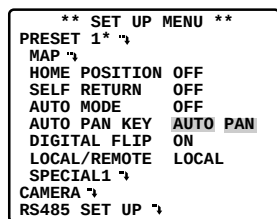
PAN LIMIT端点間とは

手順1で設定したスタート位置からエンド位置までの端点間の反対側をPAN LIMIT端点間といいます。



0S ↔ 1S ↔ 2S ↔ 3S ↔ 5S ↔ 10S ↔ 20S ↔ 30S

コントローラーのAUTO PANキーを押したときの本機動作モードを設定します。



- # 1
- カーソルを「AUTO PAN KEY」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、動作モードを設定します。動作モードは次のように切り換わります。
- 「SEQ」「SORT」「AUTO PAN」はオートモードの設定（30ページ）と同じです。「PATROL」はパトロール機能の設定（41ページ）が「PLAY」のときと同じです。

AUTO PAN ↔ SEQ ↔ SORT
 ↑ ↓
 PATROL

「SEQ」「SORT」「PATROL」に設定した場合、設定どおりの動作はしますがAUTO PANキーのLEDは点灯しません。また、AUTO PANキーでの停止はできません。

デジタルフリップ機能の設定 [DIGITAL FLIP]

通常の垂直回転動作ではカメラが真下を向いたところで停止しますが、デジタルフリップ機能を使用すると垂直方向0° ~ 180° をワンモーションで回転することができ、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。(135° 付近で画像の上下左右を反転します)

** SET UP MENU **	
PRESET 1* ↵	
MAP ↵	
HOME POSITION	OFF
SELF RETURN	OFF
AUTO MODE	OFF
AUTO PAN KEY	AUTO PAN
DIGITAL FLIP	ON
LOCAL/REMOTE	LOCAL
SPECIAL1 ↵	
CAMERA ↵	
RS485 SET UP ↵	

セットアップメニュー

1 カースルを「DIGITAL FLIP」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます

- ON : デジタルフリップ機能を使用します。(PAN LIMIT がONのときは90° までの回転となります。)
- OFF : デジタルフリップ機能を使用しません。
垂直方向0° ~ 90° の範囲で回転します。

メモ

- ・デジタルフリップ機能は、ジョイスティックつまみを真下に向け続けたときに動作します。上、斜め上、斜め下のときは動作しません。
- ・デジタルフリップ機能を「OFF」に設定している場合、カメラを垂直方向に180° 動かすには次の操作が必要です。
 - ① ジョイスティックつまみを下に動かし、カメラを真下に向ける
 - ② ジョイスティックつまみを左または右に動かし、カメラを水平方向に180° 回転する
 - ③ ジョイスティックつまみを上に動かす
- ・WJ-SX777BやWV-CU360によるプリセットのダイレクト設定時は、一時的にデジタルフリップ機能と電子ズーム機能を「OFF」にしてください。垂直方向90° ~ 180° の範囲は設定できません。

プリセット設定

コントローラー電源OFF時の動作設定 [LOCAL/REMOTE]

コントローラーの電源を切ったときの本機動作を設定します。

** SET UP MENU **	
PRESET 1* ↵	
MAP ↵	
HOME POSITION	OFF
SELF RETURN	OFF
AUTO MODE	OFF
AUTO PAN KEY	AUTO PAN
DIGITAL FLIP	ON
LOCAL/REMOTE	LOCAL
SPECIAL1 ↵	
CAMERA ↵	
RS485 SET UP ↵	

セットアップメニュー

1 カーソルを「LOCAL/REMOTE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、LOCAL/REMOTEを切り換えます

LOCAL : コントローラーの電源を切ってもオートモード (30ページ) の設定内容に従って動作します。

REMOTE : コントローラーの電源を切ると、約1分後にオートモードでの動作を終了します。

お願い

WV-CU550B、WV-CU360、WV-CU161、WV-RM70、との組み合わせでは「REMOTE」は使用できません。必ず「LOCAL」に設定してください。

特別メニューの設定 [SPECIAL1]

プライバシーゾーンやパトロール機能など、特別な機能を設定します。

● 特別メニューを表示する

** SET UP MENU **	
PRESET 1* ↵	
MAP ↵	
HOME POSITION	OFF
SELF RETURN	OFF
AUTO MODE	OFF
AUTO PAN KEY	AUTO PAN
DIGITAL FLIP	ON
LOCAL/REMOTE	LOCAL
SPECIAL1 ↵	
CAMERA ↵	
RS485 SET UP ↵	

セットアップメニュー

1 カースルを「SPECIAL1 ↵」に合わせ、CAM (SET) キーを押します

特別メニューが表示されます。

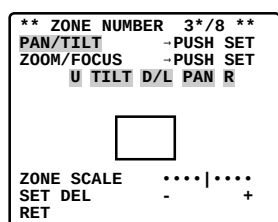
次ページから各設定項目と操作方法の説明をします。

** SPECIAL1 **	
PRIVACY ZONE	OFF (ENB) ↵
PROPO. P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↵
PASSWORD LOCK	OFF ↵
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
RET	

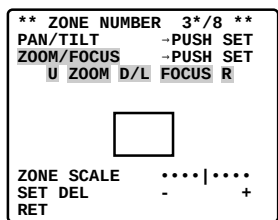
特別メニュー

[未設定のゾーン番号を選択した場合]

- ・画面上に設定されているゾーンが3ヶ所以下のときは、ゾーン枠が表示されます。ただし、手順5,6のPAN/TILT操作でゾーンが4ヶ所存在する画面に移ったときは、ゾーン枠は表示されなくなります。
- ・画面上に設定されているゾーンが4ヶ所あるときは、ゾーン枠は表示されません。ただし、手順5,6のPAN/TILT操作でゾーンが3ヶ所以下の画面に移ったときは、ゾーン枠が表示されます。



PAN/TILT設定メニュー



ZOOM/FOCUS設定メニュー

5

PAN/TILT右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、PAN/TILT設定メニューを表示します

6

ジョイスティックつまみを上下左右に動かしてカメラの向き（水平・垂直位置）をゾーン設定したい場所に合わせ、CAM (SET) キーを押します

ゾーン枠が表示されないところ（垂直方向の約45°より下側）では設定できません。

カメラの向きが決定し、ゾーン設定メニューに戻ります

7

ZOOM/FOCUS右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、ZOOM/FOCUS設定メニューを表示します

8

ZOOMスイッチでズームを、FOCUSスイッチでフォーカスを調整し、CAM (SET) キーを押します

調整が完了し、ゾーン設定メニューに戻ります。

ズーム調整は1倍から10倍の範囲で設定できます。

9

カーソルを「ZONE SCALE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ゾーン枠の大きさを設定します

- 方向に動かすと小さくなり、+ 方向に動かすと大きくなります。ただし、縦横の比率は3:4に固定されています。

10

カーソルを「SET」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
プライバシーゾーンの設定が完了し、ゾーン番号選択メニューに戻ります。

「DEL」を選択した場合は、ゾーンの設定を解除してゾーン番号選択メニューに戻ります。

プリセット設定

●ズーム連動PAN/TILTスピード機能を設定する [PROPO. P/T]

ズーム比に応じてPAN/TILT（水平回転/垂直回転）の動作速度を自動調節する機能です。

同じ動作速度でPAN/TILT操作を行うと、ズーム位置がWIDE（広角）側のときはゆっくり動いているように感じますが、TELE（望遠）側のときは高速で動いているように感じ映像が見づらくなります。

ズーム連動PAN/TILTスピード機能を使用すると、ズーム比に応じてPAN/TILTの動作速度を自動調節するため、最適な映像を見ることができます。

** SPECIAL1 **	
PRIVACY ZONE	OFF(ENB)↗
PROPO. P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↗
PASSWORD LOCK	OFF ↗
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「PROPO. P/T」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます

ON : ズーム連動PAN/TILTスピード機能を使用します。

OFF : ズーム連動PAN/TILTスピード機能を使用しません。

●エリアタイトルを設定する [AREA TITLE]

撮影場所の方角を画面に表示する機能の設定です。また、方角の代わりに任意の文字を表示することもできます。

表示する方角は、N（北）、NE（北東）、E（東）、SE（南東）、S（南）、SW（南西）、W（西）、NW（北西）です。

** SPECIAL1 **	
PRIVACY ZONE	OFF(ENB)↗
PROPO. P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↗
PASSWORD LOCK	OFF ↗
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「AREA TITLE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、エリアタイトルのON/OFFを設定します

ON（NESW）：方角を画面に表示します。

「ON（NESW）」を選択してCAM（SET）キーを押すと、ポジション（NESW）設定メニューが表示され、詳細設定が行えます。（ 39ページ）

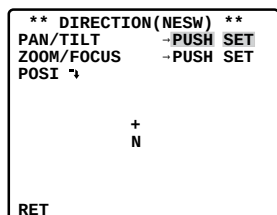
ON（USER）：設定した文字を画面に表示します。

「ON（USER）」を選択してCAM（SET）キーを押すと、エリアタイトル（USER）選択メニューが表示され、詳細設定が行えます。（ 40ページ）

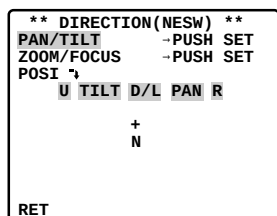
OFF : エリアタイトルを表示しません。

(1) 「ON (NESW)」を選択した場合

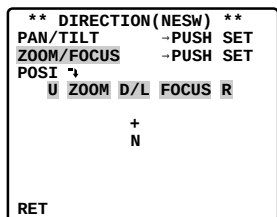
ポジション (NESW) 設定メニューを表示して、詳細設定を行う場合の操作です。
「N (北)」の位置を設定することにより、他の方角が自動的に設定されます。



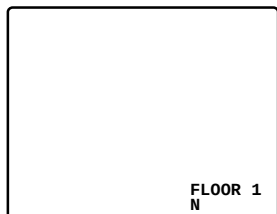
ポジション設定メニュー



PAN/TILT設定メニュー



ZOOM/FOCUS設定メニュー



表示位置設定メニュー

- 1 PAN/TILT右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、PAN/TILT設定メニューを表示します
- 2 ジョイスティックつまみを上下左右に動かしてカメラの向き (水平・垂直位置) を北の方角に合わせ、CAM (SET) キーを押します
- 3 ZOOM/FOCUS右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、ZOOM/FOCUS設定メニューを表示します
- 4 ZOOMスイッチでズームを、FOCUSスイッチでフォーカスを調整し、CAM (SET) キーを押します
- 5 カーソルを「POS1 ↕」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
表示位置設定メニューが表示されます。
- 6 ジョイスティックつまみを動かしてエリアタイトルの表示位置を設定し、MON (ESC) キーを押します
エリアタイトルの表示位置が決定し、エリアタイトル (NESW) 設定メニューに戻ります。

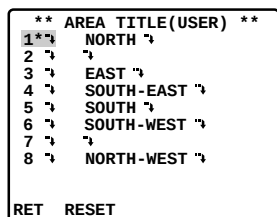
メモ

エリアタイトルは、常にカメラIDの下側に表示されます。カメラIDの表示位置とエリアタイトルの表示位置を別々の位置に設定した場合、エリアタイトルの表示位置設定が優先されます。

プリセット設定

(2)「ON (USER)」を選択した場合

エリアタイトル (USER) 選択メニューを表示して、詳細設定を行う場合の操作です。
8種類の方角と、そのエリアタイトルを個別に設定していきます。

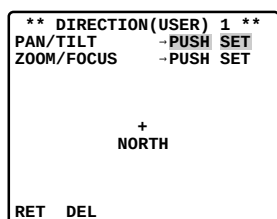


エリアタイトル選択メニュー

1 カーソルをエリア番号「1」に合わせてCAM (SET) キーを押し、ポジション設定メニューを表示します

番号右側の「*」印は、エリアタイトルが設定されていることを表します。

タイトル名が設定されていると、「+」印の下に表示されます。設定されていないときは、「+」印のみ表示されます。



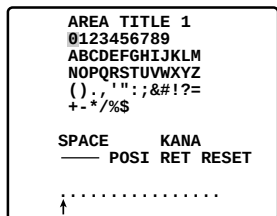
ポジション設定メニュー

2 カメラの向き (水平・垂直位置)、ズーム位置、フォーカス調整を行います

操作方法は、「(1) ON (NESW) を選択した場合」の手順1,2,3,4と同じです。(39ページ)

3 カーソルをタイトル名表示部に合わせてCAM (SET) キーを押し、エリアタイトル設定メニューを表示します

左記エリアタイトル選択メニューでは「NORTH ↴」がエリア番号1のタイトル名表示部になります。

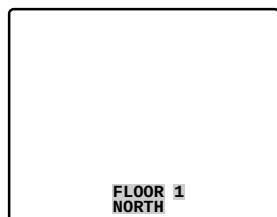


エリアタイトル設定メニュー

4 エリアタイトルを設定します

操作方法は、プリセットIDの設定方法と同じです。

「●プリセットIDを設定する (17, 18ページ)」の手順3,4,5の操作を行い、タイトル名と表示位置を設定してください。

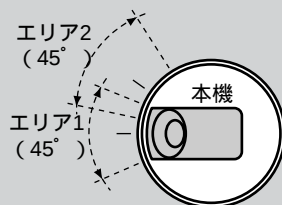


表示位置設定メニュー

5 手順1～4の操作をくり返し、エリア番号2～8を設定します

メモ

- ・エリアタイトルの表示範囲は、手順2で設定した位置を中心に45°の範囲内です。カメラの向きが他のエリア番号と重なる位置では、近いエリア番号のタイトルが表示されます。同一の位置に設定すると、大きいエリア番号のタイトルが表示されます。



- ・エリアタイトルは、常にカメラIDの下側に表示されます。カメラIDの表示位置とエリアタイトルの表示位置を別々の位置に設定した場合、エリアタイトルの表示位置設定が優先されます。

● パトロール機能を設定する [PATROL]

手動で操作した内容を記憶し、再現する機能です。最大30秒間の動作を記憶できます。
例えば、店の入口から売場までの人の動きを追跡して監視したいときなど、カメラの動作を手動操作することにより、その内容が記憶されます。記憶した操作内容を再現することにより、そのカメラ動作で監視が行えます。

** SPECIAL1 **	
PRIVACY ZONE	OFF(ENB)↵
PROPO.P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↵
PASSWORD LOCK	OFF ↵
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
RET	

特別メニュー

1 カメラの動作を記憶するときは、カメラの向きを動作開始位置に合わせます

2 カーソルを「PATROL」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、パトロール機能を設定します

STOP : パトロール機能を使用しません。

PLAY : 記憶したカメラ動作を再現します。

(43ページ)

LEARN : カメラ動作を記憶します。(42ページ)

メモ

「LEARN」を選択してカメラ動作を記憶する場合、記憶される内容は次のとおりです。

①動作開始位置記憶時

- ・ PAN/TILT/ZOOM/FOCUSの位置
- ・ IRISのレベル
- ・ シャッター速度 (SHUTTER) のレベル
- ・ ゲイン (AGC) の設定
- ・ 電子感度アップ (SENS UP) の設定
- ・ ホワイトバランス (WHITE BAL) の設定

②カメラ操作時

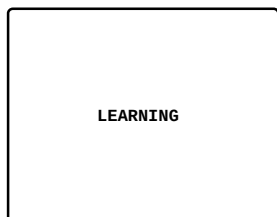
- ・ PAN/TILT/ZOOM/FOCUS
- ・ IRISのOPEN/CLOSE
- ・ プリセットポジションの移動

プリセット設定

(1) カメラ動作を記憶する

[カメラパトロールキーのあるコントローラー使用時]

- 1 カメラ設定キーとカメラパトロールキーを同時に押します
開始位置が記憶され、カメラ動作を記憶する状態になります。
- 2 カメラを操作し、動作を記憶します
記憶中は画面中央に「LEARNING」の文字が表示されます。
- 3 カメラ設定キーとカメラパトロールキーを同時に押し、記憶を停止します
設定メニューの表示、または記憶可能時間（容量）に到達したときも記憶を停止します。



記憶中の画面

[カメラパトロールキーのないコントローラー使用時]

- 1 設定メニュー（特別メニュー、セットアップメニュー）を消します
開始位置が記憶され、カメラ動作を記憶する状態になります。
- 2 カメラを操作し、動作を記憶します
記憶中は画面中央に「LEARNING」の文字が表示されます。
- 3 セットアップメニューを表示し、記憶を停止します
記憶可能時間（容量）に到達したときも記憶を停止します。

メモ

- ・記憶中に電源が切れた場合は、最初から設定をし直してください。
- ・設定操作については各コントローラーの取扱説明書をご覧ください。

(2) 記憶したカメラ動作を再現する

[カメラパトロールキーのあるコントローラー使用時]

- 1 カメラパトロールキーを押します**
カメラの向きが開始位置に移動し、記憶したカメラ動作を再現します。
- 2 再現を終了するときはジョイスティックを操作するか、パトロール停止キーを押します**
IRISを除く手動操作をしたときも再現を停止します。

[カメラパトロールキーのないコントローラー使用時]

- 1 設定メニュー（特別メニュー、セットアップメニュー）を消します**
カメラの向きが開始位置に移動し、記憶したカメラ動作を再現します。
- 2 再現を終了するときは、IRIS以外の手動操作をします**
オートフォーカスの起動操作でも再現を停止します。

[AUTO PANキーを使用する場合]

AUTO PANキー機能の設定（ 32ページ ）を「PATROL」にした場合の操作です。

- 1 AUTO PANキーを押します**
カメラの向きが開始位置に移動し、記憶したカメラ動作を再現します。
- 2 再現を終了するときは、ジョイスティックを操作するか、パトロール停止キーを押します**
IRISを除く手動操作をしたときも再現を停止します。

メモ

パトロール機能のPLAY中に、レンズがクリーニング（リフレッシュ）モードに入ることがあります。

プリセット設定

● アラーム機能を設定する [ALARM IN/OUT]

本機のアラーム入力ケーブル、アラーム出力ケーブルにアラーム信号の入出力があった場合の動作設定を行います。

** SPECIAL1 **	
PRIVACY ZONE	OFF (ENB)↗
PROPO. P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↗
PASSWORD LOCK	OFF ↗
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
RET	

特別メニュー

** ALARM IN/OUT **	
ALARM IN 1	OFF
ALARM IN 2	OFF
ALARM IN 3	OFF
ALARM IN 4	OFF
CNT-CLS 1	OFF
TIME OUT	100MS
CNT-CLS 2	OFF
COAX ALM OUT	OFF
RET	

アラーム設定メニュー

- 1 カーソルをALARM IN/OUT右側の「↗」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
アラーム設定メニューが表示されます。
- 2 カーソルを「ALARM IN 1」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、外部からアラーム入力1端子に信号を受けたときのカメラ動作を設定します
OFF : アラーム入力前と同じ動作をします。
1POSI : プリセット番号1のポジションに移動します。
- 3 カーソルを「ALARM IN 2」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、外部からアラーム入力2端子に信号を受けたときの動作を設定します
OFF : アラーム入力前と同じ動作をします。
2POSI : プリセット番号2のポジションに移動します。
- 4 カーソルを「ALARM IN 3」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、外部からアラーム入力3端子に信号を受けたときの動作を設定します
OFF : アラーム入力前と同じ動作をします。
3POSI : プリセット番号3のポジションに移動します。
- 5 カーソルを「ALARM IN 4」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、外部からアラーム入力4端子に信号を受けたときの動作を設定します
OFF : アラーム入力前と同じ動作をします。
4POSI : プリセット番号4のポジションに移動します。
BW : アラーム信号が入力されている間、白黒の映像に切り換えます。信号が途切れるとカラー映像に戻ります。

メモ

アラーム入力によるプリセット移動中に、さらに複数の入力があったときは、移動完了後、小さいプリセット番号から順番に実行されます。

6 カーソルを「CNT-CLS 1」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、アラーム検知時のアラーム出力1端子から外部へのアラーム出力動作を設定します

- OFF : 外部へのアラーム出力はしません。
- ALARM : モーションディテクター機能 (24ページ)
およびプリセットアラーム機能 (49ページ)
にてアラームを検知したときにアラーム信号
を出力します。この設定にした場合は、アラ
ーム信号の出力時間を手順7で設定します。
- AUX1 : コントローラーから「AUX1」の入力があつた
ときにアラーム信号を出力します。

7 手順6で「ALARM」を選択したときは、カーソルを「TIME OUT」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、アラーム信号の出力時間を設定します 出力時間は次のように切り換わります。

100MS ↔ 200MS ↔ 1000MS ↔ 2000MS ↔ 4000MS
↑ ↑

8 カーソルを「CNT-CLS 2」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、アラーム検知時のアラーム出力2端子から外部へのアラーム出力動作を設定します

- OFF : 外部へのアラーム出力はしません。
- BW : 白黒映像に切り換わっている間だけアラーム
信号を出力します。
- AUX2 : コントローラーから「AUX2」の入力があつた
ときにアラーム信号を出力します。

9 カーソルを「COAX ALM OUT」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます 手順2,3,4,5でALARM IN 1～4を「1POSI」「2POSI」「3POSI」「4POSI」に設定した場合のアラーム出力動作設定です。

- ON : アラーム入力1～4端子にアラーム入力があり、カ
メラの向きがプリセット番号1～4に移動完了した
時点で映像出力ケーブルからアラーム信号を出力
します。
- OFF : アラーム信号を出力しません。

メモ

プリセットデータのダウンロード、アップロード時は
「OFF」にしてください。

プリセット設定

●パスワードロック機能を設定する [PASSWORD LOCK]

プライバシーゾーンの設定 (36ページ) において、パスワード入力を必要とするかしないかを設定します。

設定内容は次のとおりです。ON→OFFへの切り換え、およびOFF→ONへの切り換えには、必ずパスワード入力が必要となります。

ON : パスワード入力が必要です。「PRIVACY ZONE」の項目は「ON (DIS)」または「OFF (DIS)」と表示されます。

特定の管理者だけがプライバシーゾーンの設定をする場合はこの設定にします。

OFF : パスワード入力は不要です。「PRIVACY ZONE」の項目は「ON (ENB)」または「OFF (ENB)」と表示され、ゾーン番号選択メニューを表示してプライバシーゾーンを設定することができます。

(1) ON/OFFを切り換える

VTRに録画していると、入力操作が録画されパスワードがわかってしまいますので、ご注意ください。

** SPECIAL1 **	
PRIVACY ZONE	OFF(ENB)↗
PROPO.P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↗
PASSWORD LOCK	OFF
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
RET	

特別メニュー

** PASSWORD? **									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
				.	.	.			
				↑					
OK	RESET								
NEW	PASSWORD	↗							
RET									

パスワード入力メニュー

1 カーソルを「PASSWORD LOCK」の項目 (ONまたはOFF) に合わせ、CAM (SET) キーを押します
パスワード入力メニューが表示されます。

2 カーソルを数字 (0~9) に合わせてCAM (SET) キーを押し、パスワード (3けた) を入力します
1けたの入力するごとに「↑」印が右に移動し、3けたのパスワードを入力するとカーソルが「OK」に移動します。

メモ

工場出荷時のパスワードは「1 2 3」です。

入力を間違えたときは、「RESET」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、最初からパスワードを入れ直してください。

3 CAM (SET) キーを押します
特別メニューに戻り、PASSWORD LOCKのON/OFFが切り換わります。
誤ったパスワードが入力されると、再度パスワードを入力する状態になりますので、手順2の操作を行ってください。

(2) パスワードを変更する

パスワードロック機能を「ON」で使用する場合は、工場出荷時のパスワードを変更することをおすすめします。設定したパスワードは忘れないように注意してください。

** SPECIAL1 **		
PRIVACY ZONE	OFF(ENB)↵	
PROPO.P/T	ON	
AREA TITLE	OFF	
PATROL	STOP	
ALARM IN/OUT	↵	
PASSWORD LOCK	OFF	Ⓜ
CLEANING	OFF	
EL-ZOOM	ON	
PRESET ALM	OFF	
IMAGE HOLD	OFF	
RET		

特別メニュー

** PASSWORD? **														
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9					

プリセット設定

● クリーニング機能を設定する [CLEANING]

本機ではスリップリングと呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、画質の劣化やノイズが発生することがあります。

クリーニング機能を使用すると、約1週間ごとにクリーニング機能が働き、スリップリングの汚れを除去することができます。

** SPECIAL1 **	
PRIVACY ZONE	OFF(ENB)↗
PROPO. P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↗
PASSWORD LOCK	OFF ↗
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「CLEANING」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます

ON : クリーニング機能を使用します。

OFF : クリーニング機能を使用しません。

クリーニング機能が働いているときは、画面中央に「CLEANING」の文字が表示されます。

メモ

システム機器とデータのアップロード、ダウンロードをするときは、クリーニング機能を「OFF」にしてください。途中でクリーニング機能が働くと、アップロード、ダウンロードが失敗します。

● 電子ズーム機能を設定する [EL-ZOOM]

電子ズーム機能のON/OFFを設定します。

本機には22倍ズームレンズが搭載されていますが、電子ズーム機能を使用することにより、約220倍まで倍率を変えることができます。

** SPECIAL1 **	
PRIVACY ZONE	OFF(ENB)↗
PROPO. P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↗
PASSWORD LOCK	OFF ↗
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「EL-ZOOM」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます

ON : 電子ズーム機能を使用します。

OFF : 電子ズーム機能を使用しません。

メモ

- ・電子ズームの倍率を上げると画質が悪化します。
- ・電子ズーム機能は、プリセットポジション設定では動きません。
- ・WJ-SX777BやWV-CU360によるプリセットのダイレクト設定時は、一時的に電子ズーム機能を「OFF」にすることが必要です。

● プリセットアラーム機能を設定する [PRESET ALM]

カメラの向きがプリセットポジションへ移動完了したときに、映像出力ケーブルおよびアラーム出力ケーブルにアラームを出力する設定です。

アラームを出力する条件は次のとおりです。

- ・SELF RETURN機能 (29ページ) が働き、ホームポジションに移動が完了したときにアラームを出力する。
- ・オートモードの設定 (30ページ) が「SEQ」の場合、シーケンス動作によるプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- ・オートモードの設定 (30ページ) が「SORT」の場合、シーケンス動作によるプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- ・オートモードの設定 (30ページ) が「AUTO PAN」の場合、AUTO PAN開始位置までのプリセット移動が完了したときにアラームを出力する。
- ・手動操作によりプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- ・パトロール機能の設定 (41ページ) が「PLAY」の場合、開始位置までのプリセット移動が完了するごとにアラームを出力する。

設定方法は次のとおりです。

** SPECIAL1 **	
PRIVACY ZONE	OFF(ENB)↗
PROPO.P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↗
PASSWORD LOCK	OFF ↗
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
RET	

特別メニュー

- 1 カーソルを「PRESET ALM」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます
ON : プリセットアラーム機能を使用します。
OFF : プリセットアラーム機能を使用しません。

メモ

プリセットデータのダウンロード、アップロード時は「OFF」にしてください。

● イメージホールドを設定する [IMAGE HOLD]

カメラの向きがプリセットポジションへ移動完了するまで、移動前の映像を静止画で表示する設定です。ネットワークインターフェースユニットを使用して、ネットワーク経由でカメラ映像を監視するときに便利です。

** SPECIAL1 **	
PRIVACY ZONE	OFF(ENB)↗
PROPO.P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↗
PASSWORD LOCK	OFF ↗
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
RET	

特別メニュー

- 1 カーソルを「IMAGE HOLD」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます
ON : プリセットポジションの移動が完了するまで、移動前の映像を静止画で表示します。
OFF : プリセットポジションの移動中も、そのままの映像を表示します。

プリセット設定

カメラ交換時のカメラ位置調整 [PAN OFFSET SET]

コントローラーには、カメラのプリセット設定をダウンロード（保存）、アップロード（回復）する機能があります。これは、予期せぬ障害や事故によって失われたカメラ側の設定情報を、ダウンロード（保存）した情報を元に回復するための機能です。（PATROL設定を除く）

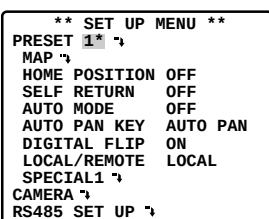
ただし、カメラ交換時にアップロード（回復）すると、交換前の映像と微妙な位置ずれを起こすことがあります。この位置ずれを調整する機能が「PAN OFFSET SET」です。

調整方法は次のとおりです。

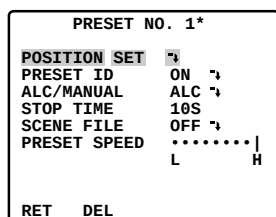
重要!!

従来のカメラ（WV-CS600、WV-CS600A、WV-CS650、WV-CS850、WV-CS550、WV-CS850A）とはデータの互換性はありません。従来カメラの設定情報を本機にアップロードすると、本機のデータが破壊されます。

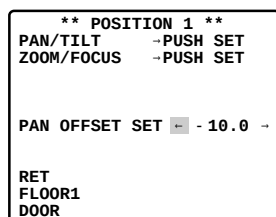
本機のデータを破壊してしまったときは、工場出荷状態の本機を準備してプリセット設定をダウンロードし、データを壊したカメラへアップロードしてください。



セットアップメニュー



プリセット設定メニュー



ポジション設定メニュー

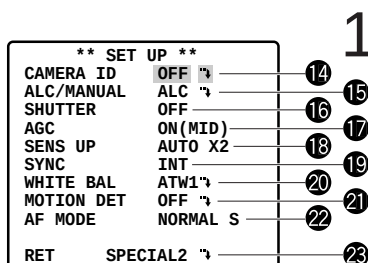
- 1 調整に使用するプリセットポジションを選択し、そのカメラ映像をTELE（望遠）側で表示します
- 2 セットアップメニューを表示します
- 3 カーソルをPRESETの設定項目「1*」に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、手順1で表示したカメラ映像のプリセット番号（1～64）に切り換えます
- 4 カーソルを「POSITION SET」に合わせ、CAM（SET）キーを押し、ポジション設定メニューを表示します
- 5 「PAN OFFSET SET」の項目（←または→）にカーソルを合わせてCAM（SET）キーを押し、オフセット値を設定します。オフセット値は、0.0、-10.0～+10.0の範囲で設定します。オフセット値を設定することにより、すべてのプリセットポジションのカメラ位置が修正されます。

メモ

設定したオフセット値はダウンロードされません。
例えば、オフセット値を「+1.0」に設定してあるカメラの情報をダウンロードして交換したカメラにアップロードする場合、交換したカメラのオフセット値が「+1.0」以外のときは位置がずれます。

カメラ設定

カメラ設定メニューを表示する



セッアップメニュー

- 1** カーソルをCAMERA IDの「OFF」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
カメラ設定メニューが表示されます。

- ⑭ CAMERA ID : カメラIDを設定します。カメラの設置場所などを英数記号、カタカナで表したものをカメラIDといい、モニター画面上に表示できます。設定方法はプリセットIDの設定と同じです。17ページをご覧ください。
- ⑮ ALC/MANUAL : レンズの絞り方法を設定します。設定方法はプリセット設定と同じです。19ページをご覧ください。ただし、MANUAL時の詳細設定は、全設定メニューを消したあとコントローラーのアイリススイッチで行います。
- ⑯ SHUTTER : 電子シャッターの速度を設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。22ページ、手順3をご覧ください。
- ⑰ AGC : ゲインの調整方法を設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。22ページ、手順4をご覧ください。
- ⑱ SENS UP : 電子感度アップを設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。22ページ、手順5をご覧ください。
- ⑲ SYNC : 同期方式を設定します。52ページをご覧ください。
- ⑳ WHITE BAL : ホワイトバランスの調整方法を設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。23ページ、手順6をご覧ください。
- ㉑ MOTION DET : モーションディテクター機能を設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。24ページ、手順7をご覧ください。
- ㉒ AF MODE : オートフォーカスの動作モードを設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。24ページ、手順8をご覧ください。
- ㉓ SPECIAL2、 : カメラの画質を調整します。53ページをご覧ください。

カメラ設定

同期方式を設定する

本機は次に示す3種類の同期方式に対応しています。また、記載順序は同期方式の優先順位を表しています。

- ① 多重化垂直ドライブ信号 (VD2)
- ② 内部同期信号 (INT)
- ③ 電源同期信号 (LL)

多重化垂直ドライブ信号 (VD2) が入力された場合は、カメラが他の同期方式に設定してある場合でも、自動的にVD2同期に切り換わります。この場合、カメラ設定メニューには「EXT (VD2)」と表示され、内部同期 (INT) および電源同期 (LL) へは切り換えられません。

ここでは、内部同期 (INT)、電源同期 (LL) の設定方法と、電源同期 (LL) 設定時の位相調整方法について説明します。

** SET UP **	
CAMERA ID	OFF ↗
ALC/MANUAL	ALC ↗
SHUTTER	OFF
AGC	ON(MID)
SENS UP	AUTO X2
SYNC	LL ↗
WHITE BAL	ATW ↗
MOTION DET	OFF ↗
AF MODE	NORMAL S
RET	SPECIAL2 ↗

カメラ設定メニュー

1 カーソルを「SYNC」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、同期方式を切り換えます

INT : 内部同期

LL : 電源同期 (50 Hz地域では使用できません)

「LL」を選択してCAM (SET) キーを押すと、位相調整メニューが表示され、詳細設定が行えます。
(下記)

● 位相調整を行う (電源同期選択時)

調整するカメラの映像信号と、基準となるカメラの映像出力信号を二重トレースオシロスコープに接続してください。

オシロスコープは垂直レートにセットし、オシロスコープの垂直同期部を拡大してください。

** SYNC **	
V PHASE	
COARSE	1(1--16)
FINE	 - +
RET	

位相調整メニュー

1 カーソルを「COARSE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、調整するカメラと基準カメラの垂直位相を粗調整します

粗調整は16段階 (1~16) の調整ができます。16段階進むと最初の段階に戻ります。

2 カーソルを「FINE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、調整するカメラと基準カメラの垂直位相を微調整します

カメラの画質を調整する

カメラ特別メニューを表示してカメラの画質を調整します。

● カメラ特別メニューを表示する

** SET UP **	
CAMERA ID	OFF ↵
ALC/MANUAL	ALC ↵
SHUTTER	OFF
AGC	ON(MID)
SENS UP	AUTO X2
SYNC	INT
WHITE BAL	ATW1 ↵
MOTION DET	OFF ↵
AF MODE	NORMAL S
RET	SPECIAL2 ↵

カメラ設定メニュー

- 1 カーソルを「SPECIAL2」に合わせ、F2キーを押します
カメラ特別メニューが表示されます。

WV-CU550B以外のコントローラーを使用している場合は、次の操作でカメラ特別メニューを表示してください。

- WV-CU360 : テンキーの左右方向スイッチを約2秒間同時に押します
- WV-CU161 : テンキーの左右方向スイッチを約2秒間同時に押します
- WV-RM70 : 左右方向スイッチを約2秒間同時に押します

使用するキー（スイッチ）は11ページを参照願います。

● 画質の調整を行う

** SPECIAL2 **	
CHROMA GAIN	
AP GAIN	
PEDESTAL	
HUE	
BW	OFF
BURST(BW)	ON
REFRESH	--PUSH SW
CAMERA RESET	--PUSH SW
DNR	LOW2
RET	

カメラ特別メニュー

- 1 カーソルを「CHROMA GAIN」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、クロマレベル（色度）を調整します
ベクトル色度指示器かカラービデオモニターを見ながら調整してください。
- 2 カーソルを「AP GAIN」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、アパーチャレベルを調整します
- 方向に動かすとソフトな画面に、+ 方向に動かすとシャープな画面になります。
カラービデオモニターを見ながら調整してください。
- 3 カーソルを「PEDESTAL」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ペデスタルレベルを調整します
- 方向に動かすと暗い画面に、+ 方向に動かすと明るい画面になります。

カメラ設定

- 4 カーソルを「HUE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、クロマ位相（色調）レベルを調整します。

ベクトル色度指示器かカラービデオモニターを見ながら調整してください。

- 5 カーソルを「BW」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、画面の白黒制御を設定します。

AUTO : 画面の明るさ（照度）により、カラー映像と白黒映像を自動的に切り換えます。暗い場合は白黒映像に、明るい場合はカラー映像になります。「AUTO」に設定すると「BW AUTO」画面が表示されます（→手順6へ）。

ON : 白黒映像を表示します（手順8へ）。

OFF : カラー映像を表示します（手順8へ）。

- 6 カーソルを「LEVEL」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、白黒映像に切り換える照度を設定します

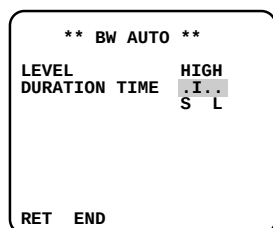
LOW : カメラ周囲の照度が約1.6 lx 以下のとき白黒映像に切り換えます。

HIGH : カメラ周囲の照度が約6 lx 以下のとき白黒映像に切り換えます。

ハロゲン光を使用し、AGCを「ON（MID）」に設定している場合の値

- 7 カーソルを「DURATION TIME」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、白黒（またはカラー）に切り換えるまでの時間を設定します

設定時間は、10秒（S） - 30秒 - 60秒 - 300秒（L）です。



[AUTO設定画面]

メモ

- ・ALARM IN 4の設定（ 44ページ）が「BW」のときは、上記設定は行えません。
- ・「AUTO」を選択した場合、回転台やズーム・フォーカスの動作中はカラー映像と白黒映像の切り換えは働きません。カラー映像と白黒映像の切り換えは、動作停止中に、明るさ（照度）を認識してから約30秒後（工場出荷時）に行われます。

8 カーソルを「BURST (BW)」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、バースト信号出力のON/OFFを設定します

白黒画面を表示する場合の設定です。

ON : バースト信号を出力します。

OFF : バースト信号を出力しません。

メモ

カメラ映像を白黒で表示する場合、モニターやVTRの種類によってはバースト信号がないと正常に映像が表示されない機器があります。このような機器を使用するときは「ON」に設定します。

9 使用中にポジションの位置がずれたときは、カーソルをREFRESH右側の「→ PUSH SET」に合わせ、F2キーを押します

位置が補正されます。

WV-CU550B以外のコントローラーを使用している場合は、次の操作をしてください。

WV-CU360 : テンキーの左右方向スイッチを約2秒間同時に押します

WV-CU161 : テンキーの左右方向スイッチを約2秒間同時に押します

WV-RM70 : 左右方向スイッチを約2秒間同時に押します

使用するキー（スイッチ）は11ページを参照願います。

カメラ設定

10 カメラの設定内容を初期値に戻すときは、カーソルをCAMERA RESET右側の「→ PUSH SET」に合わせ、F3キーを押します

設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。ただし、パスワードとプライバシーゾーンの設定内容は変更されません。WV-CU550B以外のコントローラーを使用している場合は、次の操作をしてください。

- WV-CU360: テンキーの左右方向スイッチと[5]キーを同時に押しつづけます
- WV-CU161: テンキーの左右方向スイッチと設定スイッチを同時に押しつづけます
- WV-RM70: 左右方向スイッチと設定スイッチを同時に押しつづけます

使用するキー（スイッチ）は11ページを参照願います。

メモ

クロマレベル（53ページ、手順1）、アパーチャレベル（53ページ、手順2）、ペDESTALレベル（53ページ、手順3）、クロマ位相レベル（54ページ、手順4）の設定時に、各設定項目にカーソルを合わせた状態で次の操作をすると、それぞれの設定値を初期値（工場出荷時の状態）に戻すことができます。

- WV-CU550B : F2キーを押します。
- WV-CU360 : テンキーの左右方向スイッチを約2秒間同時に押します
- WV-CU161 : テンキーの左右方向スイッチを約2秒間同時に押します
- WV-RM70 : 左右方向スイッチを同時に押しつづけます。

11 カursorをDNRの設定項目に合せてジョイスティックつまみを左または右に動かし、デジタル・ノイズ・リダクション（DNR）を設定します

- LOW1 : DNR効果小。残像あり。
- LOW2 : DNR効果小。残像なし。
- HIGH1: DNR効果大。残像あり。
- HIGH2: DNR効果大。残像なし。

RS485設定

本機のRS485ケーブルを使用して、コントローラーで本機を操作するための環境を設定します。

```

** SET UP MENU **
PRESET 1* ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN OFF
AUTO MODE OFF
AUTO PAN KEY AUTO PAN
DIGITAL FLIP ON
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵

```

セットアップメニュー

```

** RS485 SET UP **
UNIT NUMBER      1
SUB ADDRESS      -----
BAUD RATE        19200
DATA BIT         8
PARITY CHECK     NONE
STOP BIT         1
XON/XOFF        NOT USE
WAIT TIME        OFF
ALARM DATA      AUTO2
DELAY TIME       ---
RPT

```

RS485設定メニュー

メモ

RS485設定メニュー
の「SUB ADDRESS」
は設定不要です。

- 1** カーソルを「RS485 SET UP」に合わせ、CAM (SET) キーを押して RS485 設定メニューを表示します。
- 2** ユニット番号を確認します
DIP スイッチ 1 で設定したユニット番号が「UNIT NUMBER」の項目に表示されます。工場出荷時の設定は「1」です。

DIP スイッチ 1 の設定でユニット番号「1 ~ 96」を選択した場合は、「UNIT NUMBER」の項目にカーソルを合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ユニット番号（1 ~ 96）を設定します。
- 3** カーソルを「BAUD RATE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ボーレートを設定します
ボーレート（転送速度、単位：bps）は次のように切り換わります。工場出荷時の設定は「19200」です。

2400↔4800↔9600↔19200
↑ ↑
- 4** カーソルを「DATA BIT」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、データビット（7 または 8）を設定します
工場出荷時の設定は「8」です。
- 5** カーソルを「PARITY CHECK」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、パリティビット（NONE / ODD / EVEN）を設定します
工場出荷時の設定は「NONE」です。
- 6** カーソルを「STOP BIT」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ストップビット（1 または 2）を設定します
工場出荷時の設定は「1」です。

- 7 カーソルを「XON/XOFF」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、XON/XOFF機能を設定します
工場出荷時の設定は「NOT USE」です。
- NOT USE : XON/XOFFのコードによるデータフロー制御をしません。
- USE : XON/XOFFのコードによるデータフロー制御をします。

- 8 カーソルを「WAIT TIME」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、再送時間を設定します
再送時間とは、送信したデータの受信確認（ACK）が無かったときに、再度データを送るまでの時間をいいます。
再送時間は次のように切り換わります。工場出荷時の設定は「OFF」です。
- OFF ↔ 100MS ↔ 200MS ↔ 400MS ↔ 1000MS
- ↑ ↑

- 9 カーソルを「ALARM DATA」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、アラームデータの送信方法を設定します
- POLLING : コントローラーからの要求により送信します。
- AUTO1 : アラーム信号が入力されたときに送信します。
- AUTO2 : 5秒間隔で送信します。工場出荷時の設定です。

- 10 カーソルを「DELAY TIME」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、遅延時間を設定します

--- ↔ 100MS

↑ ↑

遅延時間とは、受信確認（ACK）を送信するまでの時間をいいます。工場出荷時の設定は「---」です。

この設定は、DIPスイッチ2の設定で「2線式通信」を選択している場合のみ行えます。

設置上のお願い

⚠ 警告

工事は必ず販売店に依頼してください。また、工事の際はブレーカーを切ってから行ってください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

● カメラの取付場所について

- ・強度が十分あるコンクリート天井や壁面などに取り付けてください。また、強度については、本機および取付金具、ボルト類の総重量をご確認のうえ設置工事をしてください。
- ・海上や海岸通り、腐食性ガスが発生する場所、可燃性雰囲気中などの特殊環境の所には設置しないでください。
- ・プールなど、薬剤を使用する所には設置しないでください。
- ・本機は、カメラ本体部表面より放熱をさせています。壁などに囲まれ、熱がこもる場所に設置するときは、通風穴を設けてください。
- ・周囲温度-30 ~ +50 、湿度は90%以下の場所に設置してください。(常時通電状態でお使いになる場合)カメラの内部温度は-10 ~ +50 、湿度は90%以下の場所でお使いいただけます。カメラの内部温度が-10 以下になると、映像が映らない、カメラを操作できないなどの現象が発生します。このときは、通電状態のまましばらくお待ちください。カメラの内部の温度が-10 以上になると初期化動作後、通常操作が可能となります。
- ・振動の多い場所には設置しないでください。また、本機は車載用ではありません。車輛や船舶などには設置しないでください。

- ・直射日光の当たる場所に設置すると内部に熱がこもり故障の原因となりますので周囲温度が40 以上になる場所に設置するときは、別売品のサンシールド(WV-7176)を取り付けてください。
- ・凍結防止ヒーターについて
寒冷地でもご使用いただけるよう、本機内部にヒーターが組み込まれています。ヒーターは、内部温度が0 以下になると自動的に動作します。-30 の厳しい環境下ではドームに付着した雪や霜を解凍できない場合がありますので、寒冷地でご使用になる場合は周囲およびカメラの内部温度にご注意ください。

● 吊り下げ / 取付金具について

- ・天井から吊り下げて取り付ける場合は、別売品のカメラ天井吊り下げ金具(WV-Q109)を使用してください。取付金具を現地で製作する場合は、別売品のパイプ取付金具(WV-Q111)を使用してください。
- ・壁に取り付ける場合は、別売品のカメラ壁取付金具(WV-Q110)を使用してください。
- ・吊り下げ / 取付金具を天井または壁面に取り付けるためのボルトは付属されていません。取り付け場所の材質および強度、総重量を考慮し、別途ご用意願います。

設置上のお願い

● 設置手順・設置方法について

- ・設置工事を始める前に、落下防止を施してください。設置する際は落下を防止するため、本機の安全ワイヤーを取付金具または、アンカーボルトに取り付けてから行ってください。
- ・本機は吊り下げ専用です。カメラは水平（ドーム下向き）に取り付けてください。上下逆に取り付けるとカメラ内部に水が入り、故障の原因となります。
- ・湿度に注意してください。
本機は密閉構造のため、湿度の高いときに本機を設置すると、内部に湿気がたまりドームカバー内が曇ることがあります。湿度の低いときに設置してください。
- ・クリアドームに強い衝撃を与えないでください。破損、浸水の原因となります。

● 電源の接続について

カメラの電源が入/切できるように電源工事をしてください。
本機には電源スイッチがありません。カメラの電源を入/切できるように、電源工事を行ってください。

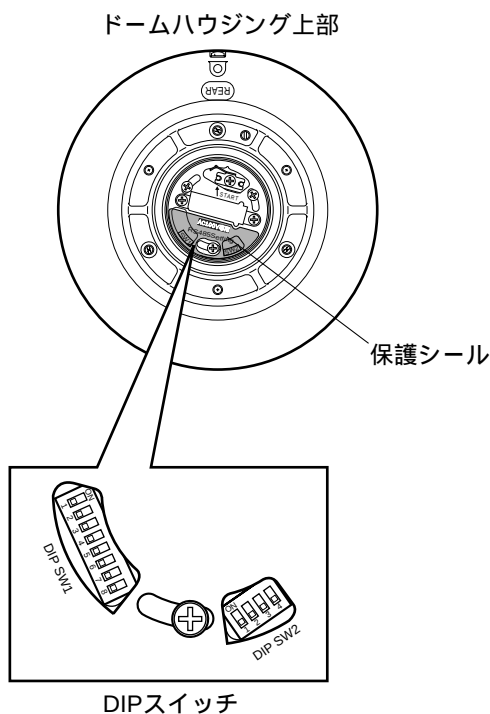
● 工事の際に知っておいていただきたいこと

- ・本機は、電源投入時にセルフクリーニング機能（PAN/TILT/ZOOM/FOCUS動作）が働きます。
- ・機器の組み合わせは制限があります。定格、外観寸法をよく確認してから接続してください。詳しくは、「Panasonic CCTVシステム 総合カタログ」を参照するか、販売店にご相談ください。

DIPスイッチの設定

本機のRS485ケーブルを使用して、コントローラーから本機を制御する場合は、本機のDIPスイッチでユニット番号と通信方式を設定する必要があります。なお、DIPスイッチは壁または天井に本機を取り付ける前に設定してください。

- 1 ハウジング着脱台を取り外します。ハウジング着脱台の外しかたは、設置する別売品の取付金具の工事説明書をご覧ください。
- 2 ドームハウジング上部にある保護シールをはがします。保護シールをはがすとDIPスイッチの設定が可能となります。
(保護シールは破棄しないでください。)

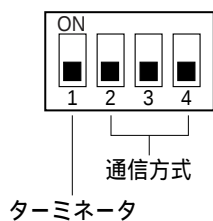


- 3 DIPスイッチで通信方式およびユニットアドレスを設定します。
通信方式 : SW2で設定します。
ユニットアドレス : SW1で設定します。
- 4 設定が完了したら保護シールを元の位置にはり直します。

DIPスイッチの設定

通信方式（SW2）の設定

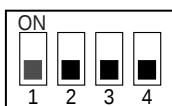
工場出荷時は、すべて「OFF」に設定されています。（ターミネータ：OFF、4線式通信）



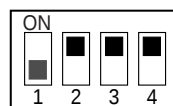
1番：ターミネータ（内部終端抵抗）
「ON」に設定してご使用ください。

2～4番：通信方式

2線式通信と4線式通信の切替設定です。使用する通信方式に設定します。



4線式通信の場合
（すべてOFF）



2線式通信の場合
（すべてON）

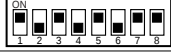
ユニット番号 (SW1) の設定

工場出荷時は、すべて「OFF」に設定されています。(同軸多重通信)

SW1	ユニット 番号	SW1	ユニット 番号	SW1	ユニット 番号
	1 ~ 96		23		46
	1		24		47
	2		25		48
	3		26		49
	4		27		50
	5		28		51
	6		29		52
	7		30		53
	8		31		54
	9		32		55
	10		33		56
	11		34		57
	12		35		58
	13		36		59
	14		37		60
	15		38		61
	16		39		62
	17		40		63
	18		41		64
	19		42		65
	20		43		66
	21		44		67
	22		45		68

(次ページへつづく)

DIPスイッチの設定

SW1 	ユニット 番号 69	SW1 	ユニット 番号 78	SW1 	ユニット 番号 87
	70		79		88
	71		80		89
	72		81		90
	73		82		91
	74		83		92
	75		84		93
	76		85		94
	77		86		95

ユニット番号「1～96」に設定した場合は、「RS485設定メニュー」でユニット番号を設定する必要があります。設定方法は、57ページの手順2をご覧ください。

この設定で電源を入れると、初期化動作中にRS485設定メニューが表示されます。

RS485通信条件（SW1）の設定

SW1を次のように設定すると、通信条件を工場出荷時の設定に戻したり、設定内容を変更することができます。

SW1	設 定 内 容
	通信条件を工場出荷時の設定に戻す。
	BAUD RATE : 19200、 DATA BIT : 8、 PARITY CHECK : NONE、 STOP BIT : 1
	BAUD RATE : 9600、 DATA BIT : 8、 PARITY CHECK : NONE、 STOP BIT : 1
	BAUD RATE : 4800、 DATA BIT : 8、 PARITY CHECK : NONE、 STOP BIT : 1

この設定を使用するときは、次の手順で行ってください。

- ① 本機の電源を切り、SW1でRS485通信条件（上表）を設定します。
- ② 本機の電源を入れます。
手順①で設定した内容が反映されます。
- ③ 本機の電源を切り、SW1でユニット番号（ 63～64ページ）を設定し、再度電源を入れます。

設置のしかた

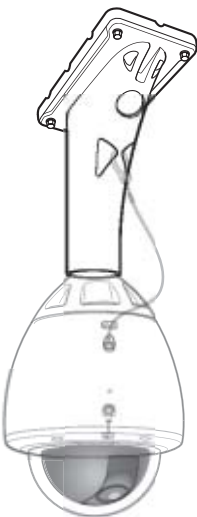
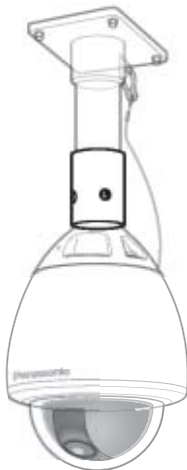
別売品のご紹介（吊り下げ／取付金具・サンシールド）

本機を設置するためには、別売品のカメラ天井吊り下げ金具（WV-Q109）またはカメラ壁取付金具（WV-Q110）が必要です。現地で製作した取付金具に本機を取り付ける場合は、別売品のパイプ取付金具（WV-Q111）が必要です。

なお、吊り下げ／取付金具およびサンシールドの取り付け手順の詳細は、ご使用になる吊り下げ／取付金具・サンシールドの工事説明書をお読みください。

⚠ 警告

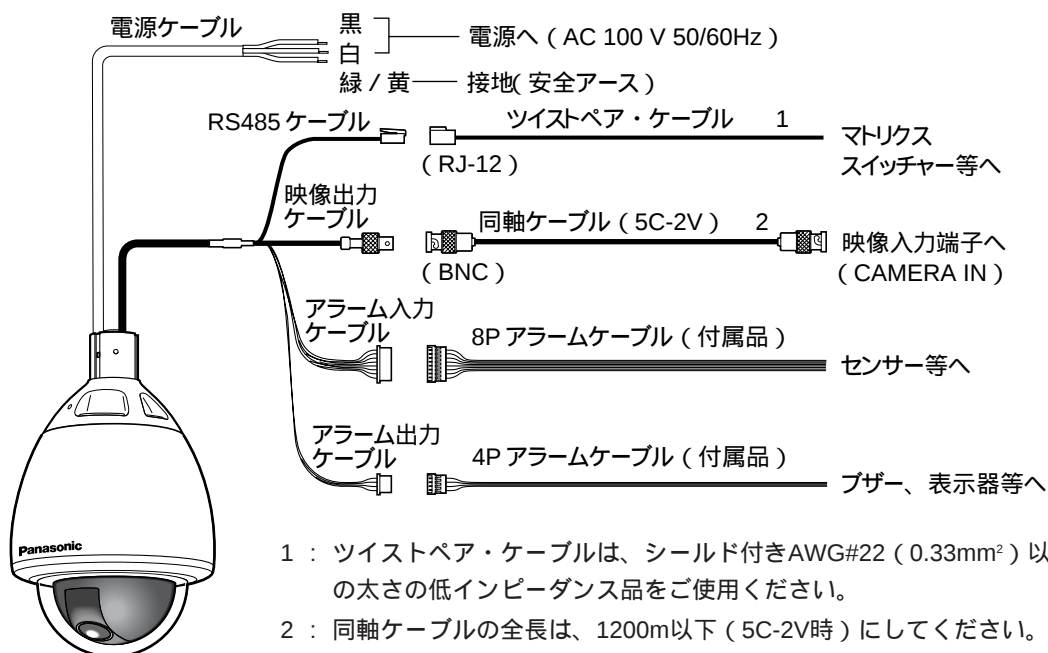
- ・ 取り付け場所の強度を確認してください。取り付け場所の強度が不足していると、落下などでけがの原因となります。
- ・ 工事の際はブレーカーを切ってから行なってください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。
- ・ 取り付け完了後、取付部がゆるんでないことを再度確認してください。
- ・ 本機の電源工事には電気工事主任の資格が必要です。

カメラ壁取付金具(WV-Q110)	カメラ天井吊り下げ金具(WV-Q109)	パイプ取付金具(WV-Q111)
		
サンシールド(WV-7176)		
		

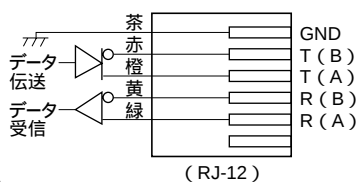
接続のしかた

⚠ 警告

工事の際はブレーカーを切ってから行ってください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。



RS485 ケーブルについて



アラーム入力ケーブルについて



アラーム出力ケーブルについて



接続のしかた

アラーム入出力の定格

アラーム入力 : 5 V DCプルアップ入力。0.2 mA以上のドライブ能力が必要です。

OFF : 4 V DC以上、5 V DC以下またはオープン

ON : 1 V DC以下またはショート

アラーム出力 : オープンコレクタ出力。ドライブ能力16 V DC、100 mA以下。

OFF : オープン

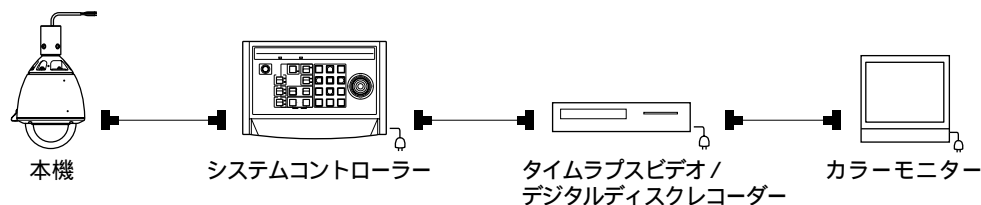
ON : 100 mA以下

外部機器接続時は、定格を越えないように設置してください。

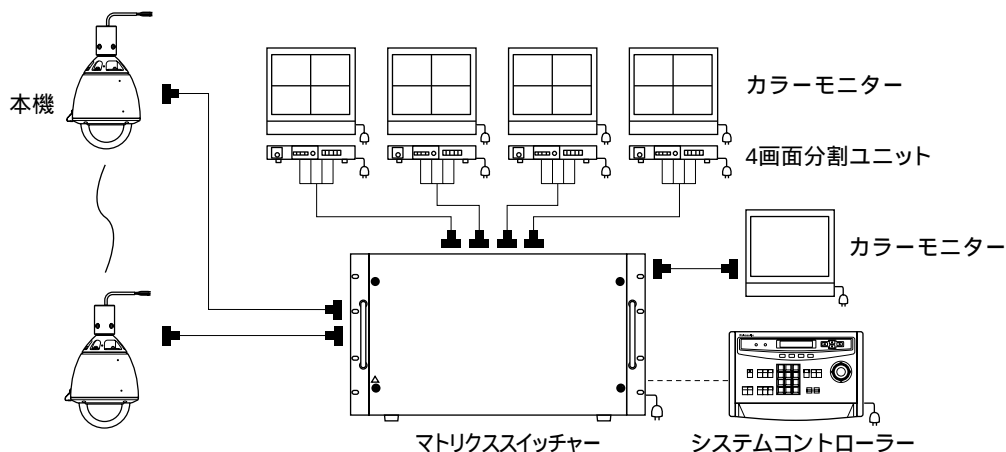
メモ

電源投入後、30秒以内に電源の入/切を繰り返すと、PAN / TILT / ZOOM / FOCUSの位置がずれることがあります。

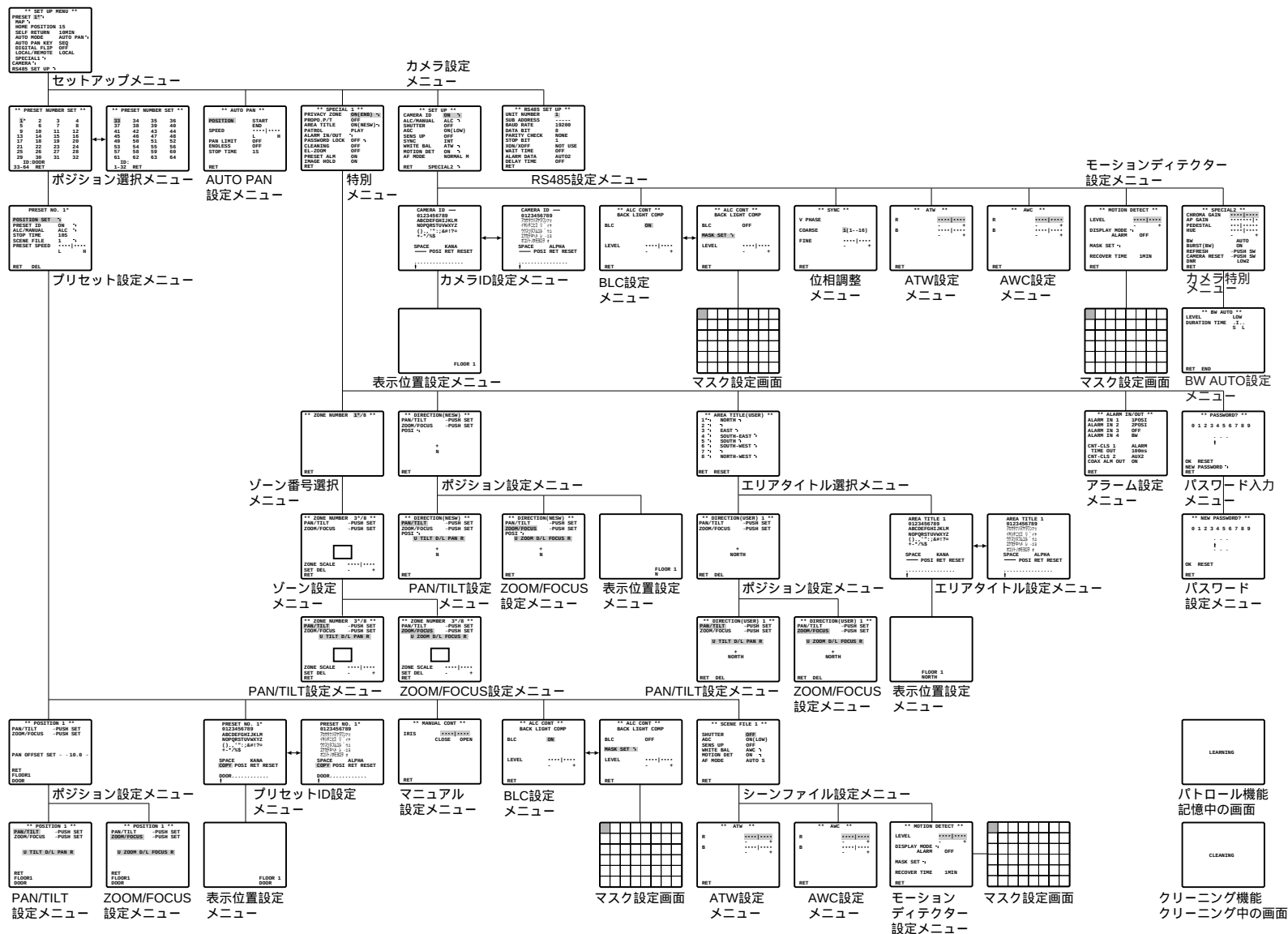
● システム例1



● システム例2



大ニユ一画面構成



ショートカット操作について

「カメラ機能」ボタンのあるコントローラーを使用すると、テンキーとカメラ機能ボタン操作で機能の設定をすることができます。(ショートカット操作)

本機で利用できるショートカット操作は次のとおりです。プリセットポジションの移動もプリセット番号をテンキー入力することにより行えますが、下表からは省略しています。

メモ

- ・プリセットポジションの移動とAUTO PANのON/OFFを設定するときは、デジタルフリップ機能を「OFF」にしてから行ってください。「FLIP ON トウロクキンシ」と表示されたら再度設定してください。
- ・レンズ、回転台の動作中は、ショートカット操作を実行できないことがあります。
- ・パトロール機能で記憶できるショートカット操作は、1～64、169、170のみです。
- ・パトロールPLAY中、動作を止めずに実行できるショートカット操作は、169、170のみです。

コントローラーの操作	設定内容	参照ページ
[6] + [5] + [カメラ機能]	AUTO PAN ON	30,31
[6] + [6] + [カメラ機能]	AUTO PAN OFF	
[6] + [7] + [カメラ機能]	AUTO PAN旋回速度を1段階速くする	
[6] + [8] + [カメラ機能]	AUTO PAN旋回速度を1段階遅くする	
[6] + [9] + [カメラ機能]	AUTO PANスタート位置設定	
[7] + [0] + [カメラ機能]	AUTO PANエンド位置設定	30
[7] + [4] + [カメラ機能]	AUTO PAN範囲反転	
[7] + [1] + [カメラ機能]	オートモード (AUTO MODE) OFF	
[7] + [2] + [カメラ機能]	オートモード (AUTO MODE) SEQ ON	
[7] + [3] + [カメラ機能]	オートモード (AUTO MODE) SORT ON	
[7] + [6] + [カメラ機能]	エンドレス旋回 (ENDLESS) ON	32
[7] + [7] + [カメラ機能]	エンドレス旋回 (ENDLESS) OFF	
[7] + [8] + [カメラ機能]	デジタルフリップ (DIGITAL FLIP) ON	33
[7] + [9] + [カメラ機能]	デジタルフリップ (DIGITAL FLIP) OFF	
[8] + [0] + [カメラ機能]	ズーム連動PAN/TILTスピード (PROPO.P/T) ON	38
[8] + [1] + [カメラ機能]	ズーム連動PAN/TILTスピード (PROPO.P/T) OFF	
[8] + [4] + [カメラ機能]	BLC ON	20
[8] + [5] + [カメラ機能]	BLC OFF	
[8] + [6] + [カメラ機能]	オートフォーカス (AF MODE) AUTO	24
[8] + [7] + [カメラ機能]	オートフォーカス (AF MODE) MANUAL	
[8] + [8] + [カメラ機能]	オートフォーカス起動	29
[8] + [9] + [カメラ機能]	ホームポジションへ移動	
[9] + [0] + [カメラ機能]	画面の白黒制御 (BW) ON	54
[9] + [1] + [カメラ機能]	画面の白黒制御 (BW) OFF	
[9] + [2] + [カメラ機能]	画面の白黒制御 (BW) AUTO	

(次ページへつづく)

コントローラーの操作	設定内容	参照ページ
[9] + [3] + [カメラ機能]	カメラID (CAMERA ID) ON	51
[9] + [4] + [カメラ機能]	カメラID (CAMERA ID) OFF	
[9] + [5] + [カメラ機能]	エリアタイトル (AREA TITLE) ON (NESW)	38
[9] + [6] + [カメラ機能]	エリアタイトル (AREA TITLE) ON (USER)	
[9] + [7] + [カメラ機能]	エリアタイトル (AREA TITLE) OFF	
[9] + [8] + [カメラ機能]	電子ズーム (EL-ZOOM) ON	48
[9] + [9] + [カメラ機能]	電子ズーム (EL-ZOOM) OFF	
[1] + [0] + [0] + [カメラ機能]	REFRESH (カメラ位置補正) 機能起動	55
[1] + [0] + [1] + [カメラ機能]	プリセット1の撮影場所を記憶する	15,16
[1] + [0] + [2] + [カメラ機能]	プリセット2の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [3] + [カメラ機能]	プリセット3の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [4] + [カメラ機能]	プリセット4の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [5] + [カメラ機能]	プリセット5の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [6] + [カメラ機能]	プリセット6の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [7] + [カメラ機能]	プリセット7の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [8] + [カメラ機能]	プリセット8の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [9] + [カメラ機能]	プリセット9の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [0] + [カメラ機能]	プリセット10の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [1] + [カメラ機能]	プリセット11の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [2] + [カメラ機能]	プリセット12の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [3] + [カメラ機能]	プリセット13の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [4] + [カメラ機能]	プリセット14の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [5] + [カメラ機能]	プリセット15の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [6] + [カメラ機能]	プリセット16の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [7] + [カメラ機能]	プリセット17の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [8] + [カメラ機能]	プリセット18の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [9] + [カメラ機能]	プリセット19の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [0] + [カメラ機能]	プリセット20の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [1] + [カメラ機能]	プリセット21の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [2] + [カメラ機能]	プリセット22の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [3] + [カメラ機能]	プリセット23の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [4] + [カメラ機能]	プリセット24の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [5] + [カメラ機能]	プリセット25の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [6] + [カメラ機能]	プリセット26の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [7] + [カメラ機能]	プリセット27の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [8] + [カメラ機能]	プリセット28の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [9] + [カメラ機能]	プリセット29の撮影場所を記憶する	

ショートカット操作について

コントローラーの操作	設定内容	参照ページ
[1] + [3] + [0] + [カメラ機能]	プリセット30の撮影場所を記憶する	15,16
[1] + [3] + [1] + [カメラ機能]	プリセット31の撮影場所を記憶する	
[1] + [3] + [2] + [カメラ機能]	プリセット32の撮影場所を記憶する	
[1] + [3] + [3] + [カメラ機能]	プリセット33の撮影場所を記憶する	
[1] + [3] + [4] + [カメラ機能]	プリセット34の撮影場所を記憶する	
[1] + [3] + [5] + [カメラ機能]	プリセット35の撮影場所を記憶する	
[1] + [3] + [6] + [カメラ機能]	プリセット36の撮影場所を記憶する	
[1] + [3] + [7] + [カメラ機能]	プリセット37の撮影場所を記憶する	
[1] + [3] + [8] + [カメラ機能]	プリセット38の撮影場所を記憶する	
[1] + [3] + [9] + [カメラ機能]	プリセット39の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [0] + [カメラ機能]	プリセット40の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [1] + [カメラ機能]	プリセット41の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [2] + [カメラ機能]	プリセット42の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [3] + [カメラ機能]	プリセット43の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [4] + [カメラ機能]	プリセット44の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [5] + [カメラ機能]	プリセット45の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [6] + [カメラ機能]	プリセット46の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [7] + [カメラ機能]	プリセット47の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [8] + [カメラ機能]	プリセット48の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [9] + [カメラ機能]	プリセット49の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [0] + [カメラ機能]	プリセット50の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [1] + [カメラ機能]	プリセット51の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [2] + [カメラ機能]	プリセット52の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [3] + [カメラ機能]	プリセット53の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [4] + [カメラ機能]	プリセット54の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [5] + [カメラ機能]	プリセット55の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [6] + [カメラ機能]	プリセット56の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [7] + [カメラ機能]	プリセット57の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [8] + [カメラ機能]	プリセット58の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [9] + [カメラ機能]	プリセット59の撮影場所を記憶する	
[1] + [6] + [0] + [カメラ機能]	プリセット60の撮影場所を記憶する	41,42,43
[1] + [6] + [1] + [カメラ機能]	プリセット61の撮影場所を記憶する	
[1] + [6] + [2] + [カメラ機能]	プリセット62の撮影場所を記憶する	
[1] + [6] + [3] + [カメラ機能]	プリセット63の撮影場所を記憶する	
[1] + [6] + [4] + [カメラ機能]	プリセット64の撮影場所を記憶する	
[1] + [6] + [5] + [カメラ機能]	パトロール (PATROL) PLAY	41,42,43
[1] + [6] + [6] + [カメラ機能]	パトロール (PATROL) STOP	

コントローラーの操作	設定内容	参照ページ
[1] + [6] + [7] + [カメラ機能]	パトロール (PATROL) LEARN開始	41,42
[1] + [6] + [9] + [カメラ機能]	レンズの絞り (IRIS) OPEN	19
[1] + [7] + [0] + [カメラ機能]	レンズの絞り (IRIS) CLOSE	
[1] + [7] + [1] + [カメラ機能]	電子シャッター (SHUTTER) ON	22
[1] + [7] + [2] + [カメラ機能]	電子シャッター (SHUTTER) OFF	
[1] + [7] + [3] + [カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階速くする	
[1] + [7] + [4] + [カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階遅くする	
[1] + [7] + [5] + [カメラ機能]	ゲイン調整 (AGC) ON	22
[1] + [7] + [6] + [カメラ機能]	ゲイン調整 (AGC) OFF	
[1] + [7] + [7] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) FIX ON	22
[1] + [7] + [8] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) FIX OFF	
[1] + [7] + [9] + [カメラ機能]	電子感度を1段階上げる (FIX)	
[1] + [8] + [0] + [カメラ機能]	電子感度を1段階下げる (FIX)	
[1] + [8] + [1] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) AUTO ON	
[1] + [8] + [2] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) AUTO OFF	
[1] + [8] + [3] + [カメラ機能]	電子感度を1段階上げる (AUTO)	
[1] + [8] + [4] + [カメラ機能]	電子感度を1段階下げる (AUTO)	
[1] + [8] + [5] + [カメラ機能]	電源同期位相調整 (FINE) 1段階上げる	52
[1] + [8] + [6] + [カメラ機能]	電源同期位相調整 (FINE) 1段階下げる	
[1] + [8] + [7] + [カメラ機能]	180° ターン (PAN方向)	
[1] + [8] + [8] + [カメラ機能]	クリーニング (CLEANING) ON	48
[1] + [8] + [9] + [カメラ機能]	クリーニング (CLEANING) OFF	
[1] + [9] + [0] + [カメラ機能]	BW AUTOの切り換え時間を30秒にする	54
[1] + [9] + [1] + [カメラ機能]	BW AUTOの切り換え時間を60秒にする	
[1] + [9] + [2] + [カメラ機能]	BW AUTOの切り換え時間を300秒にする	
[1] + [9] + [3] + [カメラ機能]	BW AUTOの切り換え時間を600秒にする	

仕様

● 基本仕様

電源	AC100 V 50/60 Hz
消費電力	58 W
撮像素子	1/4型インターライン転送方式CCD
有効画素数	768 (H) × 494 (V)
走査面積	3.59 (H) × 2.70 (V) mm
信号方式	NTSC方式
同期方式	内部同期、多重VD同期、電源同期
走査方式	2 : 1インターレース
走査周波数	水平 : 15.734 kHz、垂直 : 59.94 Hz
映像出力	VBS : 1.0 V [p-p] / 75 Ω (BNCプラグ)
解像度 (中心部にて)	水平 : 570TV本以上 (白黒モード) 480TV本以上 (カラーモード) 垂直 : 350TV本以上
最低照度 ¹	0.03 lx (白黒モード) 0.5 lx (カラーモード)
S/N	50 dB以上 (AGC : OFF)
使用温度範囲	- 30 ² ~ + 50 、湿度90 %以下 (結露しないこと)
防水性	JIS 防噴流形 (JIS C 0920 IP66) (電気用品安全法 JIS C6065 IP24)
寸法	直径200 mm × 高さ360 mm (ドーム径 : 150 mm)
質量	約5 kg
仕上げ	本体 : アルミダイカスト メラニン焼付塗装 (マンセル5.5Y7.5/0.3近似色) ドーム部 : 透明ポリカーボネート樹脂

1 電子感度アップ2倍 AGC HIGH時

2 常時通電状態でご使用の場合 (ただし、カメラの内部温度は - 10 以上)

● レンズ部

ズーム比	22倍 (電子ズーム使用時 : 約220倍)
焦点距離	3.79 ~ 83.4 mm
最大口径比	1 : 1.6 (WIDE) ~ 3.0 (TELE)
至近距離	1.6 m
絞り範囲	F1.6 ~ 22、Close
画角	水平 : 2.6° (TELE) ~ 51.7° (WIDE) 垂直 : 2.0° (TELE) ~ 39.9° (WIDE)

● 回転台部

水平回転範囲	360° エンドレス旋回
水平回転動作	マニュアル、オート、マニュアルポジション、シーケンスポジション
水平回転速度 ³	マニュアル : 約0.1° ~ 120° /s、8段階/64段階 マニュアルポジション、シーケンスポジション : 最大約300° /s
垂直回転範囲	固定0° ~ 180° (水平 ~ 真下 ~ 水平)
垂直回転動作	マニュアル、マニュアルポジション、シーケンスポジション
垂直回転速度 ³	マニュアル : 約0.1° ~ 120° /s、8段階/64段階 マニュアルポジション、シーケンスポジション : 最大約300° /s

3 回転速度は、使用するコントローラーによって変わります。

● 主な機能

コントローラーとのI/F	新監視システム同軸多重、RS485
制御機能	回転台、レンズ、64プリセットポジション回転動作、ホームポジション、パトロール
AGC	ON (LOW)/ON (MID)/ON (HIGH)/OFF
タイトル (ID)	ON/OFF (プリセットID、カメラID、エリアタイトル: 英数記号、カタカナ16文字)
ズーム動作速度	マニュアル時 約4.5 s (TELE ~ WIDE)
フォーカス動作速度	マニュアル時 約6.0 s (FAR ~ NEAR、ズームTELE端にて)
オートフォーカス	NORMAL/AUTO (PAN、TILT、ZOOM連動)
アイリス (IRIS)	ALC (OPEN/CLOSEの補正可能) /MANUAL
電子シャッター	OFF (1/60) 1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
電子感度アップ	最大32倍 (AUTOまたはFIX、出荷時はAUTO × 2に設定)
オートモード	OFF/SEQ/SORT/AUTO PAN/PATROL
オートパンキー	SEQ/SORT/AUTO PAN/PATROL
デジタルフリップ	ON/OFF
BLC	ON/OFF
モーションディテクター	ON/OFF
アラーム入出力	4入力 (ALARM IN 1 ~ 4) 2出力 (ALARM/AUX1、B/W / AUX2)
白黒切換	AUTO/ON/OFF
プライバシーゾーン	ON/OFF (ゾーン設定8ヶ所)
パトロール	STOP/PLAY/LEARN
クリーニング	ON/OFF
イメージホールド	ON/OFF

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあとは保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、レンズ部、スリップリング、FANモーター、DCモーター、IR切換メカ、ベースユニット、PANギアユニット、TILTギアユニット、TILTアースパネA、TILTアースパネB、カールフレキ、TILT軸受け部、サーモスタット、冷却ファンは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この屋外ハウジング一体型カメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年 月 日
品 番	WV-CW860
販 売 店 名	☎ () -

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ&セーフティ事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045)932-1231(大代表)

NM1201-1022 V8QA5948BN